

**各構成機関における令和5年度の実行状況及び
令和6年度の実行予定について**

【広島市自主防災連合会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------------|---|---|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップの作成等を通じてまちあるきを行い、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成に関し、住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認〔継続〕 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における地域の連絡網には、可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる連絡網の作成を促進する。 ○ 避難誘導アプリや広島市防災情報メールなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保について周知する。 ○ 防災ライブカメラ設置の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練時に連絡網やメールで、確実に情報が伝達できるかの確認を行うよう促した。 ○ 回覧や研修会等により、避難誘導アプリや広島市防災情報メールなどの情報入手手段の確保について周知した。 ○ 広島市の防災ライブカメラの設置制度について、学区自主防災会連合会へ周知し、設置を促した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 可能な限り携帯電話を使用するなど、停電時等でも情報を伝達できる地域の連絡網の作成を促進〔継続〕 ○ 広島市防災情報メールや避難誘導アプリなど、災害時に必要な情報の入手手段の確保についての周知〔継続〕 ○ 防災ライブカメラ設置の検討〔継続〕 |
| 行動する 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップを活用した災害危険箇所、避難経路等の確認 ○ 自主防災組織等による防災研修会や勉強会等の開催 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施 ○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ まちあるきや防災マップの作成に関し、住民の参加を促し、地域の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認するよう促した。 ○ 地域の各種団体と連携を図るとともに、子どもが防災に関心を持てるような防災訓練や防災研修会を開催するよう促した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災マップを活用した災害危険箇所、避難経路等の確認〔継続〕 ○ 自主防災組織等による防災訓練や防災研修会等の開催〔継続〕 ○ 地域の各種団体と連携した防災訓練、地域の特性を踏まえた防災訓練の実施〔継続〕 ○ 子どもが楽しめる防災訓練・フェアを実施〔継続〕 |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保 ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 区役所と連携して、マンションや民間施設と浸水時緊急退避施設の協定を結び、避難場所までの避難が困難な場合に備えるよう促した。 ○ 防災訓練や研修の際、非常持ち出し袋や家庭内備蓄の必要性について、「たちまち防災」や見本を活用して周知した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難場所までの避難が困難な場合などに備えて、一時緊急退避施設（商業施設（駐車場、マンション、社宅等）を確保〔継続〕 ○ 非常持ち出し袋や家庭内備蓄の準備などの周知〔継続〕 |

【広島県消防協会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|--------|--|--|--|
| 知 　　る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認 ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域と連携した、ハザードマップ等を活用した防災訓練による災害危険箇所等の確認[継続] ○ 地域住民の方と消防団（団員）と一緒にハザードマップ等を活用して、まち歩き等を実施し、危険箇所等の確認[継続] |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県、市町等が発表する防災・避難情報の伝達手段及び住民の自主避難体制の構築[継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難行動要支援者の把握及び避難訓練の実施[継続] |
| 学 　　ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど） ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で日常的に行われている行事にあわせた訓練の実施（例：とんどでの消火訓練、炊き出しなど）[継続] ○ ホームページを活用し、市町で独自に取り組んでいる活動の紹介[継続] |
| 備 　　える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防団が所有する機械器具を活用した避難支援体制の構築[継続] |

【広島県女性防火クラブ連絡協議会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-------|--|---|--|
| 知 　　る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ） | <ul style="list-style-type: none"> ○ コロナの影響がまだまだ強く、各地区の団地の行動が抑えられていて以前ほどの計画が難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織等と連携し、防災マップの作成及び災害危険箇所を確認（地域、行政等と連携し、地域住民に対して災害危険箇所などの確認を働きかけ）[継続] |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生時の誘導は声掛けを重点に実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害発生の危険性を察知した際には、近隣への声かけによる避難誘導をきめ細かく実施[継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導者研修会も開催されるようになり、各県の取組等も参考にしながら少しずつ行動できるようになっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各地区の指導者は東京での研修会、松江での研修等があり参加して各県の取組等を知ることができた。それぞれ自分の地区でそれらを生かしていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して、各県の取組等も参考にしながら行動する。 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|------------------------------------|---|--|
| 学 ぶ | ○ AED の講習は実施していきたい。 | ○ AED の講習はコロナがまだ影響を与えている。各団体も様子をみている状態。 | ○ AED の講習を実施する。[継続] |
| 備 える | ○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す） | ○ 少しずつであるが、関心はあるように見えるが盛り上がらない。 | ○ 非常持出品（非常持出袋）の備えを促進（住宅用警報器に注意を促す）[継続] |

【広島県社会福祉協議会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|--|
| 行動する | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年7月九州北部豪雨災害に係る応援職員の派遣（1クール4泊5日 実働5日） <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市災害ボランティアセンターへ、センター運営応援職員の派遣を行った（県社協職員1人、市町社協職員2人、7月30日～8月8日の期間で断続的に計3クール）。 ○ 能登半島地震発生に係る各活動先への応援職員派遣（1クール6泊7日 実働5日） <ul style="list-style-type: none"> ・避難所 <ul style="list-style-type: none"> 広島県知事からの要請により、石川県金沢市の1.5次避難所へ、広島DWA Tチーム員を派遣した（福祉専門職3人、1月31日～3月14日の期間で断続的に計7クール）。 ・災害ボランティアセンター <ul style="list-style-type: none"> 珠洲市社協、穴水町災害ボランティアセンター、能登町災害ボランティアセンターへ、センター運営応援職員の派遣を行った（県社協職員1人市町社協職員1人（一部市町社協2人）、1月16日～3月31日の期間で断続的に計7クール）。 ・災害特例貸付窓口 <ul style="list-style-type: none"> 輪島市災害特例貸付窓口の開設準備及び運営支援職員の派遣を行った（県社協職員1人、1月29日～2月4日の計1クール）。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 被災地への応援職員派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・全国で災害が発生した場合、現地の要請に応じて県内社協職員や広島DWA Tチーム員（福祉施設職員）の派遣、調整を行う。 |
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における防災・減災活動の推進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通し | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における防災・減災活動の推進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協等が実施する関係者のネットワーク会議や講座・ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における防災・減災活動の推進支援[継続] <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協等が実施する災害ボランティア講座等を通して、 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------------|--|--|--|
| | <p>て、平成30年7月豪雨災害を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。</p> | <p>訓練等（18回、13市町）を通して、防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動や関係機関の協働体制づくりを呼び掛け、取り組みを支援した。</p> | <p>先の災害対応を踏まえた防災・減災につながる平常時からの住民同士の支え合い活動（例；地域における見守り活動など）づくりを支援する。</p> |
| <p>備える</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化 ○ 災害時における福祉施設・事業所の相互支援体制（広島さっそくネット）の運営支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・市町災害ボランティアセンター等へ迅速にボランティア活動用の資機材供給を行うための資機材管理など、災害時の円滑な被災者支援の環境整備をすすめた。 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・被災者支援の県域支援ネットワークでは、県外応援派遣（久留米市災害ボランティアセンター）の対応検証及び共有研修を行うとともに、能登半島地震への応援派遣対応を通じて、発災時の円滑な被災者支援方策の整理を継続してすすめている。 ITを活用した災害ボランティア事前登録システムの活用により532人のボランティア登録があり（令和6年3月末現在）、発災時の支援体制の整備をすすめている。 また、ニーズ管理等を含めた環境整備の取り組みを継続して検討する予定。 ○ 災害時における福祉施設・事業所の相互支援体制（広島さっそくネット）の運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・16エリア中12エリアで、延べ18回のエリア会議が開催された。 ・エリアリーダー会議で、災害時を想定し、より実践的に備えをすすめるための課題を協議・共有することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害ボランティア活動に係る資機材ストックヤードの維持管理[継続] <ul style="list-style-type: none"> ・発災時に迅速に被災者支援活動を行うための資機材調整や管理等の環境整備をすすめる。 ○ 被災者生活サポートボランティアネットワークの強化[継続] <ul style="list-style-type: none"> ・発災時の迅速かつ効果的な被災者支援に向けて、県外災害ボランティアセンター応援派遣の対応検証や、県域及び市町域での平時からの関係者間の情報共有、ITを活用した災害ボランティア事前登録、ニーズ管理等を含めた協働の取り組みをすすめる。 ○ 災害時における福祉施設・事業所の相互支援体制（広島さっそくネット）の運営支援[継続] <ul style="list-style-type: none"> ・エリア会議未実施のエリアに働きかけ、実施に向けた支援を行う。 ・災害時を想定し、より実践的に備えをすすめるため、エリアリーダー会議で挙げた課題をワーキング会議で協議し、取り組みの改善等につなげる。 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|----------------------|---|--|
| 備える | ○ 広島県災害福祉支援ネットワークの強化 | ○ 広島県災害福祉支援ネットワークの強化 [継続] ・ 広島DWA T紹介動画を作成し、リーフレットにQRコードを記載して配付した。 また、広島DWA Tのホームページを作成し、DWA T活動の紹介並びに情報発信を行った。 ・ 広島DWA Tチーム員登録者の増員を図るため、第1次(7月末期限)、第2次(9月末期限)募集を行い、登録者は198人となった。 (R4年度末から100人増) ・ 広島DWA T登録者を対象に、実際の派遣を想定したスキルアップ研修を開催した。 | ○ 広島県災害福祉支援ネットワークの強化 ・ 災害福祉支援ネットワーク会議を開催し、平時からの更なる連携強化を図る。 ・ 広島DWA T紹介動画等を活用し県民に周知すると共に、災害時に円滑に連携できるよう関係機関等に対して重ねて広島DWA Tの活動を周知する。 ・ 広島DWA T登録者のスキルアップと共に、先遣チームやリーダーを担えるチーム員の養成研修会を開催する。 ・ 能登半島地震での広島DWA T活動をふまえて、平時から備えるべきことを整理して取り組みにつなげる。 |

【広島大学】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|--|
| 知る | ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報(広島県防災 Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト)のURLを記載 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一齐防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介 ○ 行政等が発信する情報(災害危険箇所等の確認)について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供 | ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報(広島県防災 Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト)のURLを記載している。 ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に教材を配布予定。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介した。 ○ 行政等が発信する情報(災害危険箇所等の確認)について、学内電子掲示板で学生・職員に対して情報提供している。 | ○ 学内電子掲示板に、災害危険箇所を知るための情報(広島県防災 Web, ハザードマップ, 県民総ぐるみ運動ポータルサイト)のURLを記載 [継続] ○ 各附属学校の全児童・生徒・職員に一齐防災教室の教材を配布。また、電子掲示板で学生・職員に教材等を紹介 [継続] ○ 行政等が発信する情報(災害危険箇所等の確認)について、学内電子掲示板及びメール等で学生・職員に対して情報提供 [継続] |
| 察知する | ○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール(県・市)の登録の促進 | ○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール(県・市)の登録の促進を行った。 | ○ 学内電子掲示板で、学生・職員に対して県防災 Web の周知及び防災情報メール(県・市)登録方法を情報提供 [継続] |
| 行動する | ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底 | ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知した。 | ○ 災害発生時の対応に係るマニュアルについて、学内掲示板に掲示するとともに、学生・職員に対して周知を徹底 [継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|---|
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 ○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 ○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載している。 ○ 地震対策・防災情報等について、学内電子掲示板等に掲示するとともに学生・職員に対して周知を行った。 ○ 10/19に構成員を対象に、安否確認訓練を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学内電子掲示板に非常用物品の取り扱い方法や防災情報等を掲載 [継続] ○ 学生・職員への安全衛生教育で、地震対策・防災情報等について周知 [継続] ○ 災害に備えた危機管理の一環として、構成員を対象に安否確認訓練を実施 [継続] |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正 ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む ○ 防災・減災研究センター関係 ～ 引き続き、相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発、災害に強いまちづくりの支援、研究成果の情報発信、人材育成等に取り組む。研究報告会、公開セミナーなどを予定。また、地域の防災に関する実情や課題に精通する行政との連携を図り、実践的な研究の成果を行政の施策、事業へ反映させる。 また、令和5年4月から、広島大学東千田キャンパスに防災・減災拠点を設置して、行政等とのさらなる連携強化に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を3月に行う予定。 ○ 専門業者による防災管理点検(10月)を行った。 ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組んだ。 ○ 防災・減災研究センター関係 <調査研究> <ul style="list-style-type: none"> ・ががら山実証実験プロジェクトでは、観測値のデータ収集など調査研究を行った。 ・広島県作成のVR教材の制作に協力した。 ・ぼうさいこくたい2023に広島県と共同で参加した。 ・令和6年能登半島地震に伴って生じた能登半島の海岸線の変化等について調査を実施し、調査結果を公表した。 <情報発信> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の向上のため、公開講座、シンポジウム、参加型のオープンディスカッションなどを開催した。 ・また、テレビ、新聞、ケーブルテレビ等を活用して、防災研究の成果や防災関連の様々な情報を発信した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 非常持出品の保管状況を確認し、補充等を行う [継続] ○ 専門業者による防災管理点検を行い、改善が必要な箇所については是正 [継続] ○ 「安否確認等マニュアル」及び「安否確認手順書の改定」に引き続き取り組む [継続] ○ 防災・減災研究センター関係 <調査研究> <ul style="list-style-type: none"> ・相乗型豪雨災害のメカニズムの解明や災害を未然に防ぐための早期検知システムの開発などに関する研究調査、国・自治体との共同研究などに取り組む。 <情報発信> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する様々な情報や資料の収集・公開や、防災意識の向上のため、公開講座、シンポジウムなどの情報発信に取り組む。 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|------|--|--|
| | | <p><社会連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体との連携強化のため、連携自治体会議を開催し、防災研究調査、防災・減災対策等について意見交換を行った。 防災人材の育成を図るため、国・自治体の危機管理職員研修、防災士養成研修、JICA 国際研修等で防災に関する講義を行った。 地域防災強化を支援するため、東千田キャンパスに地域連携フロア SENDA LAB を設置し、防災研究等に精通した防災シニア・フェローを配置した。 国道交通省中国地方整備局と重点課題、土石流発生等の危険度評価法、建設 DX の活用等について意見交換を行った。 | <p><社会連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 国・自治体との連携強化のため、防災対策や課題、研究調査等の情報・意見交換会などを定期的に開催する。 防災人材の育成、地域防災力の強化のため、国・自治体の職員、防災リーダー・防災士等の研修、地域の防災活動などを支援する。 |

【広島県私立中学高等学校協会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することにとどめることとする。[継続] 災害について周知しておいた方がよい事案等が発生した場合は各校へ周知等を行うこととしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意している。協会として定期的な取り組みについては行っていない。災害について周知しておいた方がよい事案等が発生した場合は各校へ周知等を行うこととしている。 令和6年1月12日付、広島県より依頼のありました、「みんなで減災」備えるフェアのリーフレットについて各校へ周知の案内を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 各校を設置する学校法人は、その規模や置かれた環境が異なり、個々で活動しているため、協会としての統一的な取組を行うことは、協会という立場からは難しいと判断している。そのため、各法人に意識向上を図るよう、会議等を利用して要請することにとどめることとする[継続]。 災害について周知しておいた方がよい事案等が発生した場合は各校へ周知等を行うこととしたい。 |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意している。 | <ul style="list-style-type: none"> 協会として定期的な取り組みについては行っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 学校が防災訓練、避難訓練等により日頃から災害時の対応について留意している。[継続] |

【広島県PTA連合会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 役員会・理事会・全国大会実行委員会にて、防災教育についての協議や情報交換・意見交換を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 役員会や理事会において、防災教育に関する議題や情報交流を行う。[継続] |

| | | | |
|------|--|--|--|
| 察知する | ○ 家庭の中において、様々なツールの活用を子どもと保護者で話題にして、防災に備える取組を進めていくよう会員に周知した。 | ○ 家庭の中において、様々なツールの活用を子どもと保護者で話題にして、防災に備える取組を進めていくよう会員に周知した。 | ○ 家庭の中において、様々なツールの活用を子どもと保護者で話題にして、防災に備える取組を進めていくよう会員に周知する。[継続] |
| 行動する | ○ 広島県教育委員会に対して、保護者やPTAと連携した防災教育の推進継続を要望した。 また、学校においても、自分で判断できる自主性を持った子供の育成に注力してほしいことを要望した。 | ○ 広島県教育委員会と意見交換会を開催し、「学びの変革」の中で、正に「想定外」の状況についても対応できる力を持った子供の育成について意見交換を行った | ○ 広島県が推進する「学びの変革」の中で、「想定外」の事態に対しても、自分で情報を集め、自分で考え、自分で判断し行動できる子供を育てていくことができるよう、連携をとって進めていく。 |
| 学ぶ | ○ 広報紙において、全国大会で防災教育を取り上げるので、参加してほしいなどの情報提供を行った。 ○ 全国大会の分科会の一つを「防災教育」と位置づけ、講演、実践発表、パネルディスカッションを実施した。 | ○ 全国大会における防災教育の講演や意見交換、パネルディスカッション等の記録誌を各学校へ配布し、活用してもらうよう依頼した。 | ○ 広報紙などを活用し、防災にかかわる情報等を積極的に会員に提供する。 |
| 備える | ○ PTAとしても、家庭で災害が来る前の対処など、子どもを共有しておく取組を推進していくよう協議した。 | ○ PTAとしても、家庭で災害が来る前の対処など、子どもを共有しておく取組を推進していくよう協議した。 | ○ PTAとしても、家庭で災害が来る前の準備（連絡方法や災害が起こった時の行動）など、子どもと共有しておく取組を推進していくよう協議する。[継続] |

【広島県商工会議所連合会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---------------|--|
| 知る | ○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。 | ○ 左記の取組を実施した。 | ○ 主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。[継続] |

【広島県商工会連合会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 知る | ○ 各商工会における主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。 | ○ 県内商工会の事業継続力強化支援を推進するため、商工会員事業者向けに、下記のセミナーを開催。 ① 事業継続リスク啓発オンラインセミナー (10月4日 6名・10月27日 開催 6名) ② 事業継続力強化計画策定オンラインセミナー (10月5日 4名・10月30日 開催 8名) ③ 事業継続力協会計画策定 (5件) | ○ 各商工会における主催会議や行事等の機会を通じ、会員に対し、災害危険箇所、避難場所・経路の確認が進むよう取組を促す。[継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 啓発動画を作成(通常動画1本、ショート動画3本)し、県連 Youtube チャンネル並びにHPにて公開。 Youtube タイトル「事業継続力強化計画(BCP)で補助金を獲得しよう!グループ補助金で早期復旧!」 | |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先(ホームページ、メール登録、電話番号等)を纏めて(登録して)おく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県商工会連合会BCPの災害関連情報入手先を更新(併せて、ハザードマップ、関係機関連絡先等更新)を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先(ホームページ、メール登録、電話番号等)を纏めて(登録して)おく。 [継続] ○ 発災時に、全職員に情報や指示を早急に通知するための手順の確立。 |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS を活用して、7月5日と9月7日に職員安否確認を実施した。これにより、職員への非常時行動及び連絡体制確立等についての意識付けが実施できた。引き続き、発災時の通信手段として業務用 SNS を積極的に活用し、併せて訓練も計画する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 業務用 SNS での定期的な確認訓練を実施し、非常時における行動を身に着けることと、連絡体制に不備がないか確認する。[継続] |
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。 ○ 県内商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。 ○ 県内商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内商工会事務局長会議において、安否確認訓練の実施結果を報告し、災害時の SNS による安否確認の運用基準について周知した。 7月5日 回答率(99.7%) 9月7日 回答率(100%) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県や市町からの依頼があれば、商工会主催の祭等イベントにて、ブース等を提供する。[継続] ○ 県内商工会事務局長会議において、災害対応等を学ぶ研修会を実施する。[継続] ○ 県内商工会の正副会長を対象とした防災に関する研修会を実施する。[継続] |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の被害を減少できるように、広島県商工会連合会事務所内の環境改善を行う。 ○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「職員携行カード」は新入職員に対して配布を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時の被害を減少できるように、広島県商工会連合会事務所内の環境改善を行う。[継続] ○ 広島県商工会連合会BCPを改善し、運用開始。 ○ 全職員に対して「職員携行カード」の携行を促す。 [継続] |

【広島県農業協同組合中央会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（5JA、連合会、関連団体）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する。 ○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（5JA、連合会）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを継続的に周知。 ○ 7月上旬の大雨被害発生時、災害情報の早期収集のための調査実施。 <p>※調査を実施した結果、特段の対応は不要との判断。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 会員組合（5JA、連合会、関連団体）に対して、会議や研修会等の機会を利用して、災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認などを周知する。[継続] ○ 台風・大雨・大雪等の予報発生時に、災害情報の収集・共有化を図る体制を継続して構築する。[継続] |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月上旬の大雨被害発生時、広島県のHP等により、「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集した。 <p>また、その際、広島県JA災害対策本部を立ち上げ、JA施設被害・農業被害を調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県のHP等により、台風・大雨・大雪等各種の「災害対策本部」の設置状況・災害情報に注目し、必要な情報を収集し、周知する。[継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練（8/2開催、災害を想定した救護・通報・消火等）に参加（下期実施なし）。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 入居するビルで実施する防災訓練等へ参加。[継続] |
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員研修内で防災の意識づけにかかる説明を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災の意識づけにかかる研修等の実施。[継続] |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ マイ・タイムラインの活用促進。 ○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど）。 ○ 会員組合（5JA、連合会）に対して、行政等との災害協定締結状況を把握し、JAにおける地域防災活動への支援に取り組む。また、他組合の取り組みについて共有を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ マイ・タイムラインのJA等での活用（職員向け周知または組合員向け広報誌等）に向けた周知を過去実施。 <p>マイ・タイムラインの中央会内職員への周知を過去実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災グッズにコロナ対策を意識した備品を引き続き備置。 ○ 災害協定締結状況調査を過去実施済。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ マイ・タイムラインの活用促進。[継続] ○ 防災グッズの在庫管理（使用期限等の確認含む）・備置（マスクなど）。[継続] ○ 会員組合（5JA、連合会）に対して、行政等との災害協定締結状況を把握し、JAにおける地域防災活動への支援に取り組む。また、他組合の取り組みについて共有を図る。[継続] |

【広島県宅地建物取引業協会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 知 る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。 ○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会（上半期10回、下半期11回を計画通り実施）において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットを配布した。（継続） ○ 「防災タイムライン」の作成方法などを記載したチラシを、本部及び9支部へ据え置き、会員や来訪者へ周知を図った。（継続） ○ 広島県「みんなで減災」備えるフェアリーフレット及び「地震への備え」チラシを本部会館に据え置き、会員・役員へ周知・啓発を図った。 ○ 宅建協会会報誌「宅建ひろしま」5・6月号に、広島県からのお知らせ「防災タイムラインについて」を掲載し会員に周知した。 ○ 当協会ホームページに「広島県防災WEB」のバナーを継続して掲載している。（継続） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知」と「みんなで減災」県民総ぐるみ運動について、当協会が実施する研修会・講習会等で会員に周知徹底し、全会員の理解と履行協力を求める。[継続] ○ 当協会ホームページに「防災WEB」のバナーを掲載[継続] |
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建(株)の職員にも、参加を呼び掛ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年11月2日『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加した。直前に呼びかけチラシを回覧し周知、地震発生時における安全行動について確認を行った。 ○ 令和5年11月16日不動産取引の適正化に関する連絡会において、「いのちを守る！！気象情報の活用について」を題してNHK広島放送局気象キャスター勝丸恭子氏を講師に迎え、大規模災害が頻発する中、日頃から災害に備えた行動ができるようセミナーを開催した。（約100名受講） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加することとし、同じ建物内で勤務している支部職員や広島宅建(株)の職員にも、参加を呼び掛ける。[継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|---|
| 備える | ○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。 | ○ 各協力協定に基づいて、会員を通じて「町内会・自治会等に関する情報提供を行うとともに、新規入居者へ自治会・町内会加入を働きかけ、減災に繋がる地域社会の実現に向けて継続的に取り組んでいる。 | ○ 『町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定（広島市）』、『町内会等地域活動の促進、防災・減災等に関する包括連携協定（安芸郡府中町）』、『自治会・町内会の加入促進に関する協力協定（福山市・福山市自治会連合会）』、『包括連携に関する協定（安芸郡海田町）』を基に、引き続き、会員を通じて、減災につながる地域の結びつきの強化を行う。[継続] |

【全日本不動産協会広島県本部】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 知る | ○ 会報誌に、不動産取引等の際にハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動などの啓発記事を掲載し、全会員へ向けて取組を促進 ○ 県担当者を講師に招いての、会員に対する、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組の周知 ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載 | ○ 全日広島県本部会報誌「全日ひろしま」Vol. 58(12月発行)に「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」について掲載し、ハザードマップ等による災害危険箇所の周知活動、ひろしまマイ・タイムラインなどの作成等について会員に周知。 ○ 宅地建物取引士を対象とした法定講習会【上半期2回・下半期2回実施※令和4年度からeラーニング形式で利用する動画視聴の講習へ切替のため、県の担当職員の講義はなくなった】において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」パンフレットを配布し周知。 ○ 協会ホームページのトップページに、防災に関する行政機関のホームページのバナーを掲載 [継続]。 | ○ 会報誌に、「不動産取引の機会を捉えた防災情報の周知に関する協力協定」に基づき、不動産取引等の際にハザードマップなどの提示による防災情報の周知、『みんなで減災』県民総ぐるみ運動に関する内容等を掲載し、全会員へ向けて取組を周知する。 ○ 当協会が実施する研修会、講習会等において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」のパンフレットの配布、県担当者を招いての講義等を行い、取組を周知する。 |
| 行動する | | | ○ 広島県が実施する『みんなで減災』一斉地震防災訓練について、例年どおり会員へ周知する。 ○ 全日広島県本部職員全員で、『みんなで減災』一斉地震防災訓練に参加する。 |

| | | | |
|------------|--|---|--|
| <p>備える</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知〔継続〕。町内会加入促進のポスターを事務所に掲示〔継続〕。 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成、保管〔継続〕。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市・福山市と締結した「町内会・自治会等の加入促進に関する協力協定書」に基づき、入居世帯への町内会・自治会加入の働きかけに協力するよう会員に周知する。 ○ 広島県と締結した「大規模災害時における民間賃貸住宅の媒介等に関する協定書」に基づき、災害が起こった際に迅速に対応できるよう当協会独自のマニュアルを作成する。 |
|------------|--|---|--|

【株式会社NTTドコモ中国支社】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-------------|---|---|---|
| <p>知る</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をＬアラートやリエゾン派遣により情報収集を行う。 ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。（各種防災会議等への出席） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風7号の対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をＬアラートにより情報収集を行った。（8月） ○ 能登半島地震の際にＬアラートにて避難所開設状況を確認した（1月） ○ 各種防災会議への参加による情報収集の実施。（下期12回） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風・大雨・大雪等の災害対応時に避難所開設情報や市町村の災害対策本部設置状況をＬアラートやリエゾン派遣により情報収集を行う。〔継続〕 ○ 防災機関との連携強化による情報収集を行う。（各種防災会議等への出席）〔継続〕 |
| <p>察知する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練に参加し、ドコモの災害に関する取り組みのパンフレットを配布することにより、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練、町内のイベントに参加しドコモの災害対策取組に関するアンケートを実施し認知度の把握を行った。また実際に災対車両の展示や、緊急速報メール・災害用伝言板等の説明を行い災害対策取組の更なる普及に努めた。（上期2件・下期広島2件、他県5件） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各自治体の防災訓練参加やドコモ防災ハンドブック配布施策により、緊急速報メール・災害用伝言板等の認知度向上を図る。〔継続〕 |
| <p>行動する</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。 ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外（防災関係機関、報道等） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 能登半島地震の際に、日本海側で津波警戒注意報が発令されたため社内各組織の災害対策リーダーに注意喚起を行った。（1月） ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外（防災関係機関、報道等） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風や大雪等の災害が予測される場合に迅速な対応ができるよう、社内各組織の災害対策リーダーに対する事前準備依頼と情報の展開を行う。〔継続〕 ○ ドコモの災害対策への取組を理解していただき、連携強化を図ることを目的とした社外（防災関係機関・報道 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|---|
| | <p>説明会を実施する。</p> <p>○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。</p> | <p>説明会を実施する。(広島2件、他県1件)</p> <p>トピックス：広島では、11月にTHE OUTLETS HIROSHIMAにて広島県内の各自治体様・メディア様、一般のお客様を招待し災害対策の取り組み内容のご紹介や各災害対策機器を展示し特徴のご説明を実施した。また、2月に能登半島地震での支援状況を交えながら記者懇親会を実施した。他県にはなるが、大島商船の学生様にも災害対策の取り組み内容の説明会を実施した。</p> <p>○ 防災の日に合わせて実施。(上期完了)</p> | <p>等)説明会を実施する。[継続]</p> <p>○ 災害時における携帯電話の有効な活用方法の理解浸透を図るため、ドコモ防災ハンドブック配布施策を実施する。[継続]</p> <p>○ 社外機関と連携したNTTドコモグループ(九州・四国・中国支社)総合防災訓練の実施し、自治体様や企業様・お客様に対して災害対策の取り組みについてご紹介する。(5月 関門海峡) [新規]</p> |
| 学 ぶ | <p>○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。</p> <p>○ 全従業員対象の災害対策に関する Web 研修を実施する。(毎月)</p> <p>○ 県域拠点に向けた災害対策業務の勉強会を実施する。</p> | <p>○ 全社員を対象とした安否確認訓練を実施した。(4月,7月,9月,12月,3月)</p> <p>○ 全社員を対象とし、社員一人一人の自助力の向上を目的とした web 研修を毎月実施した。</p> <p>○ 出水期に備えて、ウェザーニューズ様に中国地方の気象の特徴や今年度の台風傾向などの気象勉強会を実施いただいた。(7月)</p> <p>○ 2023年7月の組織見直しにあわせて、中国地方が被災し、災害復旧・支援活動が困難になった場合に備え、広域支援がスムーズに行えるようにブロック内連携訓練を行った。(11月実施)</p> <p>○ NTTGr 合同訓練は2月に予定したが能登半島地震対応のため来年度へ延期となった。</p> <p>○ 各拠点班内で災害対策業務に特化した勉強会を実施(広島1件,他県4件)</p> | <p>○ 従業員を対象としたシェイクアウト訓練による「緊急速報メール」を受信した場合の行動確認と「社員安否確認」を実施する。[継続]</p> <p>○ 全従業員対象の災害対策に関する Web 研修を実施する。(毎月) [継続]</p> <p>○ NTTGr 合同訓練を行う。[継続]</p> <p>○ 社内各組織に特化した内容の災害対策業務勉強会を実施する。[新規]</p> <p>○ 南海トラフ地震を想定した実践に近いWEB研修(インバスケト)を行い、有事の際の業務の優先順位付けや実施判断力を高める [新規]</p> <p>○ 防災士新たに約17名育成予定(6月) [新規]</p> |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|---|
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明する。 ○ 災害発生時に連携する防災関係機関（陸上自衛隊、海上保安庁等）との訓練を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて、自治体向けパンフレットで説明を実施した。（広島8件、他県9件） ○ 陸上自衛隊との訓練を実施した（2月広島1、3月他県1）また、海上保安庁との訓練は能登半島地震対応のため今年度中止となった。 ○ 協定に基づき、有事の際にスムーズに連携できるように訓練を実施した。（9月NEXCO, 11月：ローソン様, イオン様, 佐川急便様, 3月コミュニティFM様予定） ○ 島根原発事故が発災したと想定し、情報収集方法や、各自の役割、また島根勤務社員の避難先（広島県も含む）の確認を実施した。広島勤務社員は、避難してきた社員の受入方法、業務継続に必要な物品・環境の構築方法など役割の確認を実施した（2月） ○ 能登半島地震で実施したオンライン再診等のサービスに備えてタブレット約240台更改した。また、避難所支援用にスマホ、ガラケー約800台を最新の機種に更改した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害対策について自治体と連携強化を図るため、有事の際に提供できる優先電話貸出等や、自治体をお願いしたいことについて自治体向けパンフレットで説明する。[継続] ○ 災害発生時に連携する防災関係機関（陸上自衛隊、海上保安庁等）との訓練を実施する。[継続] ○ 協定に基づき、有事の際にスムーズに連携できるように訓練を行う。[継続] |

【KDDI 株式会社中国総支社】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地区の防災情報を広く入手できるよう、社内イントラに「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」をリンク付け [継続] ○ 中国地区のBCPマニュアルの更新・開示 [継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地区のBCPマニュアルは、全国各地区のマニュアルと『統一版』に改版。ローカルな情報は『別紙』として添付 ○ 3/1 能登半島地震を受けて『全社』と『総支社統一版』BCPマニュアルの『本紙』を更新 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地区の防災情報を広く入手できるよう、社内イントラに「中国の防災に関するポータルサイト/中国地方整備局」をリンク付け [継続] ○ 中国地区のBCPマニュアルの更新・開示 [継続] |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 [継続] ○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施(上半期1回、下半期1回) [継続] ○ 気象庁、道路交通情報を社内イントラにリンク付け [継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 3/8 安否確認訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全社規模で、毎月初日の安否確認メールにより、非常時における社員との連絡体制に漏れがないか確認を実施 [継続] ○ 地域主導で、社員状況を確認する安否確認訓練実施(上半期1回、下半期1回) [継続] ○ 気象庁、道路交通情報を社内イントラにリンク付け [継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 [継続] ○ 自治体の総合防災訓練に参加 防災への取組説明、被災地での通信環境を整備するための機器の展示 [継続] ○ 5月 安佐南区防災フェス ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施。[継続] ○ 中国総支社において、緊急時参集訓練を開催予定 [継続] ○ 九州四国総支社と、南海トラフを想定した連携訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 5月 安佐南区防災フェス ○ 8月 広島市総合防災訓練に参加 ○ 9月 九州四国総支社との合同訓練では、セミブラインドの状況付与によるロープレ訓練を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発災時、勤務者等の安否確認や通信サービス継続、被災地支援等を規定に基づき実施 [継続] ○ 自治体の総合防災訓練に参加 防災への取組説明、被災地での通信環境を整備するための機器の展示 [継続] ○ 5月 安佐南区防災フェス ○ シルバー層向けのスマホ教室での災害対策サービス紹介を実施。[継続] ○ 中国総支社において、緊急時参集訓練を開催予定 [継続] ○ 九州四国総支社と、南海トラフを想定した連携訓練 |
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に開催。 [継続] ○ 避難所支援備品の設置手順の確認 ○ 災害時通信サービスの社内勉強会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 5月 避難所支援メンバーの勉強会 (社内フロー、機器設置手順) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害用伝言板体験サービス」を毎月1日と15日に開催。 [継続] ○ 避難所支援備品の設置手順の確認 ○ 災害時通信サービスの社内勉強会 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。[継続] ○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続] ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続] ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために設備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び、入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施。[継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 12/2 南区安全・安心なまちづくりフェスティバルに参加 ○ 2/28 陸上自衛隊海田市駐屯地にてヘリコプター、トラックへの積載訓練に参加 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害担当には、全国の地震発生情報が自動的に発信され、発災後の行動に備えている。[継続] ○ 各県の総合防災訓練に参加 [継続] ○ 陸上自衛隊、海上保安庁等の関係機関と連携し、実践を意識した訓練を継続して実施 [継続] ○ 引き続き、災害発生時の通信環境を維持するために設備の充実に努め、災害対策備蓄品の点検及び、入れ替えや被災地支援機器の点検、動作確認を実施。[継続] |

【ソフトバンク株式会社】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) [継続] ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の開設の運営 [継続] ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 [継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) [継続] ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の運営 [継続] ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 [継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認、および社員が保持する業務用携帯電話への保存、事前確認の推進(全社通達) ○ 各拠点の火災発生時フロー、急病人発生時フロー、避難経路図、備蓄品情報を集約掲載した、社内専用ポータルサイト(通称:全国防火・防災ポータルサイト)の運営 ○ 大規模災害、テロ、パンデミック等の有事に備えた情報共有ポータルサイトの開設 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店に「防災情報メール」説明用チラシを配置し、携帯電話の更新・新規購入者への登録を促進 [継続] ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害伝言板、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 [継続] ○ 自社ホームページに災害伝言板、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 [継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害用伝言板、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 [継続] ○ 自社ホームページに災害用伝言板、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 [継続] ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 [継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話販売店等に配置している「モバイル総合カタログ」の中に、災害用伝言板、緊急速報メールの説明を掲載し、携帯電話の新規購入者・更新者への登録を促進 ○ 自社ホームページに災害用伝言板、緊急速報メールの機能説明等の掲載・周知 ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して、登録を促進 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 社内専用ポータルサイト（全国防火・防災ポータルサイト）に防災関連アプリを紹介して、登録を促進[継続] | | |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認, および社員が保持する業務用携帯電話への保存, 事前確認の推進(全社通達) [継続] ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して, 登録を促進[継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認, および社員が保持する業務用携帯電話への保存, 事前確認の推進(全社通達) [継続] ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して, 登録を促進[継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「災害時初動マニュアル(自社作成)」の内容確認, および社員が保持する業務用携帯電話への保存, 事前確認の推進(全社通達) ○ 社内専用ポータルサイト(全国防火・防災ポータルサイト)に防災関連アプリを紹介して, 登録を促進 |
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し, 安否登録方法を全社員が体験[継続] ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について, 全社員に対しeラーニングの受講を促進(全社通達) [継続] ○ ホームページ等において, 災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知[継続] ○ 全国の自治体主催防災訓練において, 緊急速報メールの配信, 災害用伝言板サービスの利用方法を周知[継続] ○ ホームページ等において, 緊急速報メールが, どのような時(地震, 避難勧告等)に発信され, 発信される情報内容(どのような行動をとればよいのかなど)や, どのように届くか(情報の種類による着信音の違い等)などを周知[継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し, 安否登録方法を全社員が体験[継続] ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について, 全社員に対しeラーニングの受講を促進(全社通達) [継続] ○ 自社で作成した「ご家庭での備え・チェックシート」や「自宅用備蓄品購買サイト」を周知し, 全社員に自宅防災対策を促進[継続] ○ ホームページ等において, 災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知[継続] ○ 全国の自治体主催防災訓練において, 緊急速報メールの配信, 災害用伝言板サービスの利用方法を周知[継続] ○ ホームページ等において, 緊急速報メールが, どのような時(地震, 避難勧告等)に発信され, 発信される情報内容(どのような行動をとればよいのかなど)や, どのように届くか(情報の種類による着信音の違い等)などを周知[継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「安否確認訓練」を実施し, 安否登録方法を全社員が体験 ○ 自社で作成した「災害時初動マニュアル」の内容について, 全社員に対しeラーニングの受講を促進(全社通達) ○ 自社で作成した「ご家庭での備え・チェックシート」や「自宅用備蓄品購買サイト」を周知し, 全社員に自宅防災対策を促進 ○ ホームページ等において, 災害用伝言板サービスなどの連絡手段を周知 ○ 全国の自治体主催防災訓練において, 緊急速報メールの配信, 災害用伝言板サービスの利用方法を周知 ○ ホームページ等において, 緊急速報メールが, どのような時(地震, 避難勧告等)に発信され, 発信される情報内容(どのような行動をとればよいのかなど)や, どのように届くか(情報の種類による着信音の違い等)などを周知 |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保[継続] ○ 各事業者の防火・防災体制の把握[継続] ○ 各事業所内での防災備蓄品の配備 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保[継続] ○ 各事業者の防火・防災体制の把握[継続] ○ 各事業所内に防災備蓄品を配備[継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設内の設備の転倒防止対策や避難経路の確保 ○ 各事業者の防火・防災体制の把握 ○ 各事業所内に防災備蓄品を配備 |

【広島県バス協会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示する。（ポスター等の提供があれば） ○ バス路線沿線の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示している。 ○ 「大規模災害基本対応マニュアル（日本バス協会作成）」の内容確認を会員に対し促した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ バスの車内に防災に関する啓発ポスター等を掲示する。（ポスター等の提供があれば） ○ バス路線沿線の災害危険箇所、避難場所や避難経路などを確認する。 ○ 「大規模災害基本対応マニュアル（日本バス協会作成）」を会員に対し周知する。 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。 ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を会員用ポータルサイトに掲載する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかけた。 ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を会員用ポータルサイトに掲載した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、防災情報メール、広島県防災 Web などにて情報収集し、バス路線沿線の危険性を察知できるよう会員に対して、防災情報メールの登録を呼びかける。 ○ 必要な時に必要な情報が早期に収集できるように、災害情報の入手先（ホームページ、電話番号等）を会員用ポータルサイトに掲載・更新する。 |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練へ参加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉防災訓練へ参加した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 県が開催する一斉地震防災訓練へ参加する。 |
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。 ○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供（2023.11.5 実施予定） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に対し、地震対策・防災情報等について周知した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他機関に依頼し、防災教室を実施する。 ○ 「ひろしまバスまつり」において、広島県へブース提供する。（開催日未定） |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促す。 ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促す。 ○ 会員に対し、BCPの策定を促す。 ○ 防災マニュアルの策定・更新を促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 会員に対し、広島県「みんなで減災」備えるフェアの周知及び「地震への備え」について啓発した。 ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促した。 ○ 会員に対し、BCPの策定を促した。 ○ 防災マニュアルの策定・更新を促した。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、 ○ 会員に対し「広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練」など事務局が実施するイベント・講座などへの参加を促す。 ○ 会員に対し、ひろしまマイ・タイムラインの作成を促す。 ○ 会員に対し、BCPの策定・更新を促す。 ○ 防災マニュアルの策定・更新を促す。 |

【広島県医師会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 減災に係るポスター等の掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ポスターを館内に掲示している。 ○ ポスターを市郡地区医師会へ送付し、掲示などによる周知を促進している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 減災に係るポスター等の掲示について、広島県や市郡地区医師会と連携し、掲示が促進されるよう方策の検討や取組の実施[継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|---|
| 察知する | ○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発 | ○ 「Yahoo!防災速報」アプリの「防災タイムライン」に関する記事等、防災に関する記事（すきま記事）を会員向け広報誌に掲載した。 | ○ 「広島県医師会速報」による、会員へ向けた防災意識・手順・サービス等の定期的な啓発[継続] |
| 行動する | ○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方を共有する。 ○ 広島県と協力し、EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力に関する訓練を計画・実施。 | ○ 関係機関と災害発生時の対応と連携について検討を重ねている。 ○ 広島県と協力し、県内医療機関一斉「EMIS（広域災害救急医療情報システム）緊急時入力訓練」（11/1～11/10）を実施した。 前回の実施（6/21～6/30）から入力率が向上した（46.1%→53.1%）。 ○ 令和6年能登半島地震発生にともない災害医療チーム「広島JMAT」を1月9日（火）～3月10日（日）まで計16隊（計70名）を石川県へ派遣し、各避難所支援（1次、1.5次、2次）、被災医療機関の支援、さらに本部業務支援を行った。 | ○ 各種研修会や訓練などの実施を通じて、関係機関との連携を強化し、さまざまな医療面での対応方を共有。[継続] ○ 広島県と協力し、EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力に関する訓練を計画・実施。[継続] |
| 学ぶ | | ○ 日本医師会が主催するJMAT研修 オプション研修（令和5年7月30日（日））に参加した。 ○ 令和5年度都道府県災害医療コーディネーター研修が、令和5年12月10日（日）に開催され、本会が推薦した医師3名が受講した。 | |
| 備える | ○ 災害対応の現状を整理し、体制整備・見直し。具体的な対応マニュアルの作成。 ○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージにおける災害対応を迅速に進めるため情報を共有する。 | ○ 中国四国医師会連合 災害医療担当理事連絡協議会（令和5年5月2日（火））を開催し、災害時医療救護に関する協定について協議・検討した。 →令和5年24日（土）開催の令和5年度中国四国医師会連合常任委員会にて、協定の見直し案が承認され、同日付で改正された。 ○ 災害時に速やかに適切な医療を提供する支援体制の見直しを行っている。 ○ 太田川水防災タイムライン検討会に参画 ○ 小瀬川水防災タイムライン検討会に参画 | ○ 災害時に連携が必須となる県内の市区郡地区医師会や日本医師会、そのほか関係機関の災害対応から、自機関が備えるべきことを検討する。[継続] ○ 災害対応の現状を整理し、体制整備・見直し。具体的な対応マニュアルの作成。[継続] ○ 太田川水防災タイムライン・小瀬川水防災タイムラインのハザード別の各ステージにおける災害対応を迅速に進めるための情報共有。[継続] |

【広島県歯科医師会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」や「広島県防災Web」を利活用して、研修や会議等の際に、災害時への準備や対応について啓発を図る。 ○ 引き続き本歯科医師会の会報誌に、「防災・減災のちから一備えあれば憂いなしー」と題した文章を毎月掲載し、会員に情報提供を行っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」や「広島県防災Web」を利活用して、研修や会議等の際に、災害時への準備や対応について啓発を図った。 ○ 「災害は忘れたころにやってくる」ことから、定期的な情報提供として、引き続き本歯科医師会の会報誌に、「防災・減災のちから一備えあれば憂いなしー」を毎月掲載した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「会員のための災害時ハンドブック」や「広島県防災Web」を利活用して、研修や会議等の際に、災害時への準備や対応について啓発を図る。 ○ 引き続き本歯科医師会の会報誌に、「防災・減災のちから一備えあれば憂いなしー」と題した文章を毎月掲載し、会員に情報提供を行っていく。 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際の会員の安否確認について、スマホやパソコンからも簡単に回答ができる「グーグルフォーム」など、現在のメーリングシステムに代わるものを継続検討していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際の会員の安否確認について、スマホやパソコンからも簡単に回答ができる「グーグルフォーム」など、現在のメーリングシステムに代わるものをシステムベンダーとも協議し、役員会等にも中間報告した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃からの注意喚起の発信はもちろん、実際に災害が起こった際の会員の安否確認について、スマホやパソコンからも簡単に回答ができる「グーグルフォーム」など、現在のメーリングシステムに代わるものを継続検討していく。 |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市地区歯科医師会との連絡網について、定期的な見直しと独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。 ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に利活用していけるよう、会員向け研修会を計画的かつ継続的に実施していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市地区歯科医師会との連絡網について、定期的な見直しと独自の災害対応訓練などにより実効性を高めた。 ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について発災時に具体的に利活用していけるよう、会員向け研修会を開催した。 ○ 「令和6年能登半島地震」に災害歯科支援チームを派遣して得た知見を、今後の災害関連の研修に生かすとともに、BCPの見直し等に反映させていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度に構築した郡市地区歯科医師会との連絡網について、定期的な見直しと独自の災害対応訓練などにより実効性を高めていく。 ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」の内容について、発災時に具体的に利活用していけるよう、会員向け研修会を計画的かつ継続的に実施していく。加えて、「令和6年能登半島地震」に災害歯科支援チームを派遣した知見を整理し、研修に生かしていく。 |
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していく研修会を継続実施していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していく研修会を開催した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本歯科医師会「災害歯科保健医療体制研修会」で学んだことを、会員はもとより、歯科衛生士・歯科技工士にも伝達していく研修会を継続実施していく。 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県や広島市、広大歯学部等との連携組織である広島県歯科衛生連絡会での「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」での連携強化を継続していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県や広島市、広大歯学部等との連携組織である広島県歯科衛生連絡会での「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」で協議した。 ○ 令和5年度広島県災害時公衆衛生チーム研修会（Web）への参加 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県や広島市、広大歯学部等との連携組織である広島県歯科衛生連絡会での「災害歯科保健医療体制・整備検討会議」での連携強化を継続していく。 |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「備蓄」の消費期限等考慮し継続的に見直しをしていく。 ○ 安否確認システムの構築。 ※「察知する」の取組内容。 ○ 本歯科医師会全体計画として策定した「事業継続計画（BCP）」（案）の内容検証を行い、規定化するとともに、会員への周知活動を検討・実施していく。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県の歯科医師会とは、中国四国地区歯科医師会災害歯科保健担当者とグループメールを作成したので情報共有を行う、下半期に行う広島国税局管内税務指導者協議会の際に災害対応訓練の実施を検討することなどにより、連携強化していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「備蓄」の消費期限等考慮し、数量等継続的に見直しを行った。 ○ 安否確認システムの構築。 ※「察知する」の取組内容。 ○ 本歯科医師会全体計画として策定した「事業継続計画（BCP）」の規定化を検討した。中国地域歯科医療管理学会で発表し参加学会員の意見を伺った。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県の歯科医師会とは、中国四国地区歯科医師会災害歯科保健担当者とグループメールを作成したので情報共有を行った。下半期に行った広島国税局管内税務指導者協議会の際に災害対応訓練の実施を協議し、以降の連携強化を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「備蓄」の消費期限等考慮し継続的に見直しをしていく。 ○ 安否確認システムの構築。 ※「察知する」の取組内容。 ○ 本歯科医師会全体計画として策定した「事業継続計画（BCP）」について、「令和6年能登半島地震」に災害歯科支援チームを派遣した知見を整理し、見直しを行っていく。 ○ 協定を交わした中国・四国地区8県の歯科医師会とは、中国四国地区歯科医師会災害歯科保健担当者とグループメールを作成したので情報共有を行う、下半期に行う広島国税局管内税務指導者協議会の際に災害対応訓練の実施を検討することなどにより、連携強化していく。 |

【日本放送協会広島放送局】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 午後6時10分からのローカルニュース番組「お好みワイドひろしま」などで、防災意識を高めてもらう企画を継続して発信。 ○ 災害時には、通常のニュースに加えて、夜間や早朝にかかわらず、特設ニュースを編成して早めの避難を呼びかける。 ○ NHK広島のホームページで、「防災さんぽ」や県内の主要河川の危険箇所をわかりやすく伝える「かわしり」などのレポート動画を常時掲載する。 ○ 子供から大人まで防災について学び備えることができる「防災ポケット手帳」を配布する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「お好みワイドひろしま」では、関東大震災から100年の節目となる9月、防災に関わる広島県内のさまざまな現場を親しみやすい演出で伝える4回シリーズ、「潜入！ひろしま防災調査団」を放送。 ○ ホームページでのショート動画や「防災ポケット手帳」の配布は継続して実施。○ 午後6時台の「お好みワイドひろしま」では防災・減災に関する企画・中継を継続的に制作。直近の3月には「防災これだけは」と銘打って、津波と地震に関する基本的な知識の解説シリーズを放送。また、能登半島地震で浮かび上がった課題を地元で落とし込んだ企画として、県内の備蓄についての企画や、孤立集落となる恐れのある中山間地域の課題を取り上げる企画を放送。 ○ 能登半島地震を受けて、3月7日には、ローカルの緊急特番「危険 あなたのそばに活断層（仮）」を放送。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 午後6時10分からのローカルニュース番組「お好みワイドひろしま」などで、防災意識を高めてもらう企画を継続して発信。 ○ 災害時には、通常のニュースに加えて夜間や早朝にかかわらず特設ニュースを編成し、早めの避難を呼びかける。 ○ NHK広島のホームページで「防災さんぽ」や県内の主要河川の危険箇所をわかりやすく伝える「かわしり」などのレポート動画を常時掲載する。 ○ 子供から大人まで防災について学び備えることができる「防災ポケット手帳」を配布する。 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ L字放送で等絵雨雲の状況や土砂災害の危険度などが分かるスマホ向けの「NHKニュース防災アプリ」の普及に努める。 ○ 特設ニュースやL字放送のほか、SNSなどでも減災に関わる情報を発信し、早めの避難を呼びかける。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ NHKニュース防災アプリの普及のためのPRを継続して実施。 ○ 大雨や台風の際は、SNSも活用して、避難行動の判断に資する最新の情報を発信。 ○ 広島県が運営する防災・減災に関するサイトやアプリについて、操作方法や最新の動きをニュース番組やWEBで定期的に紹介。○ 能登半島地震では、中国地方で津波注意報が発令されたことを受けて、該当する地域ではL字放送や特設ニュースを実施して、地域のきめ細かい情報を伝えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ L字放送で、雨雲の状況や土砂災害の危険度などが分かるスマホ向けの「NHKニュース防災アプリ」の普及に努める。 ○ 特設ニュースやL字放送のほか、公共メディアとして許容される範囲で最大限、SNSなども活用して減災に関わる情報を発信する。 ○ 県内の自治体が発表した避難情報や避難所に関する情報を一覧できるサービスを継続的に行う。 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|-----------------------------|---|---|--|
| 行動する ・ 学ぶ ・ 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 週に1回程度、地震などの災害時を想定した緊急送出手訓練を実施する。 ○ NHK広島ホームページにある「暮らしと安全」のコーナーに、広島県の「みんなで防災」はじめての一步のリンクを掲載。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 9月以降、3月第1週までに計11回の緊急送出手訓練を実施。現場からのスマートフォンを使った中継の習熟にも努めた。 ○ 広島県内の企業を対象に、災害時のBCP＝事業継続計画の立案や見直しに役立ててもらおうというセミナーを開催。約30社にご参加いただいた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 週に1回程度、地震などの災害時を想定した緊急送出手訓練を実施する。 ○ NHK広島のホームページにある「暮らしと安全」のコーナーに、広島県の「みんなで防災」はじめての一步のリンクを掲載。 ○ 広島県内の企業を対象に、災害時のBCP＝事業継続計画の立案や見直しに役立つセミナーの開催を検討する。 |

【株式会社中国放送】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|---------------------------------|---|--|---|
| 知る 察知する 行動する 学ぶ 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害報道、防災情報に力を入れ、スタッフ研修、番組制作などに継続して取り組む。 ○ 報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨や広島土砂災害などに関連した継続的な防災報道に加え、大雨時などに地上波特別枠を設けたり、Web配信したりして情報発信した。 ・4～7月、気象・災害情報について理解を深める活動（放送・Web）。▽新たな線状降水帯30分前予測について解説などについて企画ニュースを通じ解説 ・4月 仮設暮らしから4年半ぶりに自宅に帰った家族の様子を伝える。呉市で異音がした山、岩盤崩落のニュースを伝える。 ・5月、6月—梅雨入りと共に大雨関連の情報を厚く伝える。早めに雨に関する情報を伝える。キキクルの見方を何度も解説。 <ul style="list-style-type: none"> —気象予報士がつくば市の防災科学技術研究所にある大型降雨体験施設で猛烈な雨を体験。事前避難の大切さを訴える。 —西日本豪雨被災地そばの小学校でARをつかった防災授業を放送 ・7月 西日本豪雨から5年めぐる報道。当時の振り返り企画を連日放送。愛媛など素材交換し企画を放送。Web配信。 <ul style="list-style-type: none"> —大雨に関する情報を適宜伝える。九州の災害などを応 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 報道機関として、行政の災害対応、防災施策に問題はないかも含めて、しっかりと取材・報道する ○ 災害報道、防災情報に力を入れ、スタッフ研修、番組制作などに継続して取り組む ○ 「みんなで減災」県民総ぐるみ運動に賛同し、あらゆる機会をとらえて、防災に関する発信を行う。 ○ 県などが主催する防災訓練を積極的に取材し、県民へ向けて発信する。 ○ きめ細かい独自の天気予報を伝えるとともに、平常時・災害時とも情報発信は、ラジオ・テレビ・インターネットホームページなど様々なメディアによって行う。 |

| | | | |
|--|--|---|--|
| | | <p>援取材しながら、災害時の状況を帰広後報告レポート。</p> <p>○ 気象情報の発表形式が変更されたり、県民の生活に大きな影響を与える大雨・大雪の時期を捉え、ニュース内の企画・特集コーナーで視聴者へ防災・減災情報の啓発を行った。</p> | |
|--|--|---|--|

【株式会社テレビ新広島】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県の防災の取組に関する様々な情報などを、日頃のニュースや「満点ママ」の月1防災企画などで提供する。 ○ 中国地方整備局と協力し、主幹道の「国道カメラ」のリアルタイム映像の提供を受け、大雪による渋滞・立往生の情報などを視聴者へいち早く伝える[継続] ○ 引き続き、県内各市町と「災害情報発信協定」の締結を進め、ニュース等を通じて災害への備えを訴え、「避難の重要性」を知ってもらう。[継続] ○ 警戒レベル3「高齢者等避難」以上の発令時に速報スーパー対応するなど、早期避難に繋がる取り組みを行う。[継続] ○ 3/11の東日本大震災13年を契機に震災の防災企画ニュースを番組内で特集。南海トラフ地震における「臨時情報」をテーマに分かりやすく伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報の発表内容が変わるタイミングや出水期の時期などに合わせ、防災に関する様々な企画ニュースを放送。 ○ 「満点ママ」の月1防災企画を実施。「非常用持ち出し袋」「ゲリラ豪雨」「台風に備える」などタイムリーな気象課題に合わせ、分かりやすく解説。 ○ 新たに2自治体と締結、広島県及び17市町と結んだことに。別の3市町と協定書は取り交わし済み。 ○ 災害の危険度を5段階に分けた危険度情報について番組内で解説し、早めの避難行動を促す ○ 複雑なシステムについて基本情報を分かりやすく放送する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報などの発表内容が変わるタイミングや出水期の時期などに合わせ、防災に関する様々な企画ニュースを放送。県民に分かりやすく最新の防災情報を伝える。 ○ 「満点ママ」の月1防災企画を今季も継続して実施。タイムリーな気象課題に合わせ、分かりやすく解説。 ○ 特に南海トラフ地震の「臨時情報」については折に触れ、複雑なシステムを分かりやすく伝え注意喚起、啓発する。 ○ 広島県内各市町と「災害情報発信協定」を締結し、平時よりニュースや番組等を通じて、災害への備えを伝えるとともに「避難の重要性」を訴える。 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中国地方整備局と協力し、主幹道の「国道カメラ」のリアルタイム映像の提供を受け、大雪による渋滞・立往生の情報などを視聴者へいち早く伝える[継続] ○ 引き続き広島県及び県内各市町と「災害に係る情報発信等に関する協定」締結を進める。[継続] (広島県及び15市町と締結済み。5市町と協定書取り交わし済み。) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難のタイミングを考えるうえで、広島県防災Webやヤフー防災タイムラインの活用キキクルの情報など詳しく伝えることで避難行動を呼びかける ○ 新たに2自治体と締結、広島県及び17市町と結んだことに。別の3市町と協定書は取り交わし済み。 ○ 6月30日から7月1日にかけての大雨でLアラートで入ったレベル3以上の避難情 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難のタイミングを考えるうえで、広島県防災Webやヤフー防災タイムラインの活用し、キキクルの情報など詳しく伝えることで避難行動を呼びかける ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ・ホームページを通じて、繰り返し伝達する。 ○ 災害時には本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やか |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知[継続] ○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知[継続] ○ 災害時には、本放送だけでなく、データ放送やホームページ等を活用し、きめ細やかな情報を迅速に提供[継続] ○ 正確な情報を早くわかりやすく、テレビ、ホームページ、インターネットを通じ、繰り返し伝達[継続] | <p>報を都度速報。防災情報は発信に努めた</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月7日からの大雨で9日未明からL字放送の準備、午後から実施し、県民への、いち早い気象情報と防災・避難情報、交通情報の発信に努めた。 | <p>な情報を迅速に提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県及び県内各市町と「災害に係る情報発信等に関する協定」締結を進める。（広島県及び17市町と締結済み。3市町とは協定書取り交わし済み） ○ 警戒レベル3「高齢者等避難」以上の発令時に速報スーパー対応するなど、県民の早期避難に繋がる取組を行う。[継続] ○ 注意報・警報などの情報をテレビの字幕で周知[継続] ○ 災害情報等をテレビの字幕放送（L字放送等）で周知[継続] <p>交通情報など県民が必要とする情報もあわせて伝える。</p> |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃から、より防災・減災を意識したテレビ番組内での情報露出の強化 ○ 災害に備え具体的にどう行動するのかを意識してもらうための啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 番組内での機会を通じて、マイ・タイムラインの製作や避難経路の確認、避難グッズの用意など、継続して、防災・減災を意識した啓蒙活動を行った。 ○ 3/11の東日本大震災を契機に南海トラフ地震の「臨時情報」について分かりやすい解説ニュースを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 番組内での機会を通じて、マイ・タイムラインの製作や避難経路の確認、避難グッズの準備など、継続して、防災・減災を意識した啓蒙活動を行う。 ○ 南海トラフ地震など震災における防災情報も分かりやすく伝える |
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 通常のニュースに加え、特集などで災害の原因に迫るとともに、土砂災害警戒区域の指定や被災者支援などを検証 ○ 報道を通じて、県民に防災・減災について考えてもらう素材・機会を提供 ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供 ○ 減災につながる最新の防災情報などについては、機会をとらえ、ニュースなどの企画・特集などを通じて分かり易く県民へ周知・啓発を図る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 3/11の東日本大震災を契機に南海トラフ地震の「臨時情報」について分かりやすい解説ニュースを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 報道を通じて、県民に防災・減災について考えてもらう素材・機会を提供 ○ 自局のホームページで、防災・減災の知識や情報を提供 ○ 減災につながる最新の防災情報などについては機会をとらえ、ニュースなどの企画・特集などを通じて分かり易く県民へ周知・啓発を図る。 |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 気象情報や県市町等から発せられる警戒レベルや避難所情報を的確に伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 気象情報や県市町等から発せられる警戒レベルや避難所情報を的確に伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自局のホームページで、防災・減災に関する情報を提供 ○ 防災情報や県市町等から発せられる警戒レベルや避難所情報を的確に伝える。 |

【広島テレビ放送株式会社】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。 ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起 ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週に一度放送し県民の防災意識を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 折に触れ、災害関連の勉強会や関係者との会合に参加し、情報収集や意見交換などを実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 折に触れ、災害関連の勉強会や関係者との会合に参加し、情報収集や意見交換などを実施。[継続] |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報および避難情報が出た場合、ニュースやL字放送で情報発信。 ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報を掲載。 ○ 広テレアプリでスマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報および避難情報が出た場合、ニュースやL字放送で情報発信。[継続] ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報を掲載。[継続] ○ 広テレアプリで県内に警報、注意報が出た際のお役立ち情報の発信。[新規] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨や大雪などで警報および避難情報が出た場合、ニュースやL字放送で情報発信。 [継続] ○ ホームページやデータ放送にニュースで放送した警報情報を掲載。[継続] ○ 広テレアプリでスマホへのプッシュ通知による避難情報などの提供。[継続] ○ 広テレアプリで県内に警報、注意報が出た際のお役立ち情報の発信。[新規] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し早めの行動を呼びかけ。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し、早めの行動を呼びかけ。 ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週に一度放送し、県民の防災意識を高める。 ○ 災害に特化した特別番組を年に少なくとも一度制作、放送。9月は「Snow Man 阿部亮平の学校では教えてくれない防災教室4」を放送した。 ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。 ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ニュースや速報、L字を使って気象情報や避難情報を放送し、早めの行動を呼びかけ。 ○ 「みんなで防災プロジェクト」コーナーを週に一度放送し、県民の防災意識を高める。 ○ 災害に特化した特別番組を年に少なくとも一度制作、放送。 ○ ニュースにおいて、土砂災害の特集を放送。 ○ 梅雨・台風シーズン及び大雪・寒波について番組内の天気コーナーやニュース内で注意喚起。 ○ 広テレアプリやホームページを通じて災害時に必要な情報を発信。 ○ 年に一度、「みんなで防災フェス」を開催し、来場者に |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|----------------------------|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広テレアプリやホームページを通じて災害時に必要な情報を発信。 ○ 年に一度、「みんなで防災フェス」を開催し、来場者に防災知識を深めてもらうとともに、さまざまな防災体験をしてもらう。 ○ オンラインによる防災講座を開設。ファミリー層を対象に、家庭での備えや防災に必要な情報をゲーム感覚で楽しめる。 ○ 防災協定を締結している自治体からの講演依頼への気象予報士の派遣。○ 年に一度、「森から防災教室 in 尾長」を開催し、親子を対象に、森が防災に果たす役割を学んでももらう（10/9実施）。[継続] | <p>防災知識を深めてもらうとともに、さまざまな防災体験をしてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンラインによる防災講座を開設。ファミリー層を対象に、家庭での備えや防災に必要な情報をゲーム感覚で楽しめる。 ○ 防災協定を締結している自治体からの講演依頼への気象予報士の派遣。 |
| 学 ぶ | ○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。 | ○ 23市町と締結している防災協定に基づき、年に一度、市町の防災担当者を集め、必要な情報や意見を交わすシンポジウムを開催（2/15実施）。[新規] | ○ 23市町と締結している防災協定に基づき、年に一度、市町の防災担当者を集め、必要な情報や意見を交わすシンポジウムを開催。 |
| 備 える | ○ 放送を通じて、防災についての意識を高めてもらう。 | ○ 定期的に地震訓練を実施し、いざという時の放送に備える（不定期に実施）。[継続] | ○ 定期的に地震訓練を実施し、いざという時の放送に備える。[継続] |

【株式会社広島ホームテレビ】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発 ○ ニュース番組で、「防災」（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかける。 ○ テレビのデータ放送（dボタン）を使い自治体の情報を見ることができる新しいサービスの運用 | <ul style="list-style-type: none"> ○ データ放送（dボタン）を使った自治体情報の閲覧について、4月から新たな自治体が増加した。 ○ 7月西日本豪雨から5年を契機に、7月5日レギュラータウン番組を拡大し、被災地の現状や、災害のメカニズムなど専門家を交えた特別番組を放送した。 ○ 1月1日能登半島地震発生後、大地震に備えるためのグッズや避難などの特集を、番組で放送した。 ○ 行政や企業などの防災協定について取材し、放送した。 ○ データ放送で気象状況を伝えた。 ○ 三次市や坂町でdボタンを使った掲示板を開設。防災情報を市民に伝えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組で広島県防災WEBの活用（土砂災害危険度情報のチェックの仕方など）を啓発[継続] ○ ニュース番組で、「防災」（豪雨災害、南海トラフ地震への備えなど）をテーマにした放送必要時は自社インターネット配信と合わせて警戒を呼び掛けることができる態勢づくりを進める[継続] ○ 大雨警戒時にL字放送を実施し、注意や避難を呼びかける。[継続] ○ テレビのデータ放送（dボタン）を使い自治体の情報を見ることができるサービスの運用、利用自治体を増やす[継続] |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設（「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。） | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自社HP上に「広島防災」といったページを開設。過去に放送した防災VTRやその時々々の気象情報を伝えている。広島県防災WEBのリンクも貼り、より詳しい県内気象情報の発信に努めた。 ○ データ放送で気象情報を常に伝えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載[継続] ○ 自社ホームページに「広島防災」ページ開設「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。）[継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信 ○ 警報など随時ニュース速報で対応 ○ 地上波放送及びネット配信で特別番組を編成し、現状や予報を発信する。 ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨で警報が発令されると、webなどに常に最新情報を掲載。地上波番組でも、気象コーナーで最新の情報を放送した。 ○ 自社気象予報士や契約した気象会社と情報交換しながら、特別番組を放送。災害現場の状況や、気象予報士による解説を随時放送した。 ○ L字情報をホームページとリンクさせ、情報を多チャンネルで発信していった。 ○ 能登半島地震に応援クルーを派遣し、全国だけでなく、県内ローカルでも現地の状況を伝えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨洪水警報や避難勧告などが出た場合、自社ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）の自社アカウントから情報を発信[継続] ○ 警報など随時ニュース速報で対応[継続] ○ 地上波放送及びネット配信で特別番組を編成し、現状や予報を発信する。 ○ 自社ホームページのトップページに、広島県防災WEBへのリンクバナーを掲載[継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|--|
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月6日西日本豪雨から5年に合わせ、夕方情報番組を1時間拡大で放送。最新の防災グッズ紹介や、災害メカニズムを専門家を交え伝えた。 ○ 夕方ニュース情報番組で、気象予報士が、長期地震動の仕組みなど、天気、災害ネタを視聴者に伝えた。 ○ 能登半島地震の状況を応援クルーが伝えた際、広島県内で同様の地震が起きた場合の避難や、今すべき水道管の耐管対策など伝えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災関連の自社制作番組を小中学校の授業で活用してもらう[継続] ○ ニュース番組で、防災に関する必要な知識や情報を紹介[継続] |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島防災」キャンペーンを行い、気象や避難など多角的な企画VTRを放送。HP上でもアップし幅広い人に周知した。 ○ 昼休みを利用して、地震発生マスターカット訓練を平日毎日行った。 ○ ANN系列で南海トラフに備えた訓練を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ニュース番組等で、広島県防災Webなどのチェックを促し、L字放送などで早めの避難を呼びかける[継続] ○ 「広島防災」HPについては、引き続き防災情報を追加し充実を図る。[継続] |

【株式会社中国新聞社】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|---|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。それを還元していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年9月、社内の大会議室で「安全を考える集い」を実施している。 今年19日、広島地方気象台地域防災係長の部田安富さまを講師に招き「防災気象情報の利活用について—大雨や地震・津波に備えて」をテーマにお話いただいた。支社局からも参加できるようウェビナーでも配信した。 ○ 「安全を考える集い」の講演を社のホームページにアップし、見るように呼び掛けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 社員を対象に「安全を考える集い」を開催。さまざまな専門家に話を聞き、まずは自らを、さらには家族を守る意識を確実に醸成していく。それを還元していく。[継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施。 ○ 「中国新聞メルマガ（旧名ちゅーピーメルマガ）」を随時改良を重ねながら、読者に対し、より詳しい地震や大雨などに関する災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し、素早い避難を促す。 ○ 災害情報は、中国新聞の電子紙面「中国新聞デジタル」でも避難情報や地震の情報を速報する。 ○ 小学生の学びに役立つウェブサイト「ちゅーピー子どもウェブ」(22年4月スタート)に、新聞で連載中の防災特集や、西日本豪雨など過去の災害の記事などを分かりやすく掲載。防災教育の教材として役立ててもらおう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ メルマガやプッシュ通知、SNSなどで、地震や大雨などの災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し、素早い避難を促している。 ○ ニュースサイト「中国新聞デジタル」で、避難情報や地震の情報などを速報している。 ○ 子ども向けウェブサイト「ぶんタッチ」に「わたしたちのまちでおきた災害」のコーナーを設けており、子どもたちの学習に役立ててもらっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年の広島市との防災情報の提供に関する協定締結以降、実施している、防災行政無線の内容を、ケーブルテレビ回線を通じて宅内に設置する専用の受信機で確認できるサービスの継続実施。[継続] ○ 「中国新聞メルマガ（旧名ちゅーピーメルマガ）」を随時改良を重ねながら、読者に対し、より詳しい地震や大雨などに関する災害情報、それに伴う交通、ライフライン情報を発信し、素早い避難を促す。[継続] ○ 災害情報は、中国新聞の電子紙面「中国新聞デジタル」でも避難情報や地震の情報を速報する。[継続] ○ 小学生の学びに役立つウェブサイト「ちゅーピー子どもウェブ」(22年4月スタート)に、新聞で連載中の防災特集や、西日本豪雨など過去の災害の記事などを分かりやすく掲載。防災教育の教材として役立ててもらおう。[継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害報道では、これまでの災害も踏まえ、「どう命や地域を守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も含め、住民意識に訴えていきたいと考えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島土砂災害から9年、西日本豪雨から5年のタイミングをとらえ、それぞれの発生日に合わせて、特集や連載などを幅広く展開。当時の関係者を再取材し、被災後の自主防災組織の取り組みや、心の問題、地域再生の課題などを多角的な視点で報道し、防災意識を高めてもらうよう努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 西日本豪雨災害報道では、これまでの災害も踏まえ、「どう命や地域を守るのか」を最重点に報道し、命を守る行動に結びつくよう、提言も含め、住民意識に訴えていきたいと考えている。[継続] |
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたいと考えている。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月1回、朝刊に「防災 命を守るために」という特集ページを新設。高齢者にも分かりやすいグラフィックスで、災害が起きるメカニズムなどを解説。ハザードマップの見方なども紹介している。11月の「中国地方の災害史」で | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災上の問題点を紙面を通じてニュースや連載特集などで示し、住民への啓発の一助につなげたいと考えている。災害時の心構えや過去の教訓についても報道し、安全安心について、さまざまなテーマを掘り下げていきたい。[継 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|--|
| | | 終了。身近なエリアで過去100年に起きた災害を洗い出し、同じような災害が起きたときにどう行動するかをまとめた。 一連のシリーズは中国新聞デジタルにも掲載、 | 続] ○ 能登半島地震で浮き彫りになったのは過疎高齢化が著しい地域での防災体制の難しさ。共通の課題と捉え直し、教訓を生かした報道を心掛ける |
| 備える | ○ 社内の主要拠点において行っている災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら、随時積み増ししている。 | ○ チャットルーム「防災記者ネット」をつくり、報道センターの気象・災害を担当する記者が、中国地方整備局や気象庁などの勉強会、記者会見などで得た情報や資料を共有している。記者、デスク、管理職を含め33人が登録し、いざという時に備えている。 ○ 備蓄については、定期的に状況管理し、必要数を確保。随時、積み増しをした。 | ○ 社内の主要拠点において行っている災害時に必要な備蓄について、定期的に状況を管理しながら、随時積み増ししている。[継続] |

【広島エフエム放送株式会社】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| 知る | ○ 「みんなで減災」推進大使が各生放送番組に出演して周知 ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知 | ○ 継続的に実施 ○ 3/2（土）「第2回熊野東防災交流センターまつり」にて防災講演会を実施。 | ○ 「みんなで減災」推進大使が各生放送番組に出演して周知 ○ 「みんなで減災」推進大使として、各種イベントへ出演。ステージイベントやブースにおいて、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を周知 |
| 察知する | ○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 ○ 大使の番組出演時に、「Yahoo!防災速報」アプリ登録の呼びかけ | ○ 7/9には、ネット番組に割り込み、詳しく実施した。 ○ 大使出演時に、実施した。 | ○ 大雨や台風接近時などには、気象情報・避難情報を特に詳しく番組を通じて周知 ○ 大使の番組出演時に、「Yahoo!防災速報」アプリ等の各種ツール登録呼びかけ |
| 行動する | ○ 発災時の安否確認方法、緊急時マニュアルの確認 ○ 大使の番組出演時に、県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）や県内の防災訓練の周知、参加呼びかけ | ○ 令和6年能登半島地震を受け、安否確認方法、緊急時マニュアルの改訂を行っている。 ○ 10月に実施した。 | ○ 発災時の安否確認方法、緊急時マニュアルの確認と随時更新 ○ 大使の番組出演時に、県が開催する一斉地震防災訓練（シェイクアウト）や県内の防災訓練の周知、参加呼びかけ |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者との情報交換を定期的に実施 ○ 新たなスタッフ、番組出演者へ、「災害時の対応」について研修を実施 ○ HFM 防災ハンドブック 2023 の制作、配布、配布に合わせた番組内企画展開実施 ○ 防災ハンドブックを活用したワークショップやイベント、学校への出前授業等の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続的に実施している。 【新規】県内のコミュニティ FM 事業者と情報交換。 ○ 令和6年能登半島地震を受け、1月中旬に番組スタッフ、出演者に対して、複数回に分けて実施した。 ○ 各番組内で継続的に実施している。 ○ 7月に発行した防災ハンドブックをつかい、午後の生放送番組内で「防災Q」と題して、ハンドブックの中からクイズを出題している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 有識者との情報交換を定期的に実施 ○ 県内コミュニティ FM 事業者との情報交換、連携方法等の意見交換を継続 ○ 新たなスタッフ、番組出演者へ、「災害時の対応」について勉強会を実施 ○ HFM 防災ハンドブック 2024 の制作、配布、配布に合わせた番組内企画展開実施 ○ 防災ハンドブックを活用したワークショップやイベント、学校への出前授業等の実施 |
| 備 える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知 ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせて、番組等で再度取り上げ、注意喚起(7月1週目や9月初旬には特集企画を実施予定) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月、1月に実施した。 ○ 梅雨時期、台風シーズン、過去の災害発生日周辺では、防災ハンドブックの告知とあわせて、番組内での注意喚起を行った。 ○ 1月17日、3月11日それぞれに合わせて、特に「地震」に関する注意喚起を実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大使の番組出演時に県の「備えるフェア」の周知 ○ 梅雨や台風シーズンは、番組を通して、注意喚起 ○ 過去の災害発生日に合わせて、番組等で再度取り上げ、注意喚起 |

【広島地方気象台】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|--|
| 知 る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 気象庁が発表する各種防災情報の利活用方法について、地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。[継続] ○ 各種キキクル（危険度分布）を地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。[継続] | <ul style="list-style-type: none"> ○ 貴県主催の市町の防災担当（室）課を対象とした会議や昨年8月以降に毎月1回広島県内の報道機関を対象とした各種防災情報の勉強会等の機会を捉えて、自治体や報道機関向けに周知広報を実施した。 ○ 前項の貴県主催の会議や報道機関向けの勉強会等の場で、各種キキクル（危険度分布）の上手な利活用方法について解説した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度中に実施予定の各種防災情報の情報改善に関する取組について、地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。 ○ 各種キキクル（危険度分布）を地域住民に避難判断の参考として活用してもらうため、自治体、報道機関等を通じた周知広報を行う。 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度出水期の振返りを広島県内報道機関を対象にTV会議システム等を活用して実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年9月に、自治体と「令和5年度梅雨時期の大雨についての振返り」を実施した。 また、報道機関には適宜、機会を捉えて各種防災気象情報の改善に関する情報を地域住民の皆さま方に提供していただいている。 ○ 昨年10月26日にNHK広島放送局、11月1日に県内の民放を対象に「令和5年度梅雨時期の大雨についての振返り」をWeb会議で実施した。 | |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。 ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年12月から今年2月にかけて、民放の放送局に対してテレビ局の見学を兼ねた個別の放送局との各種防災情報に関する意見交換会を実施した。 ○ 防災気象情報に関するYoutube解説資料を定期的に作成し、自治体防災担当者へ共有し防災業務への支援を行った。 ○ みんなで減災推進課が主催している防災授業でのゲストティーチャーや部外講演等の機会を捉えて、生徒・児童を含めた一般住民向けの防災情報に関する周知広報を適宜実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続] ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民への情報が的確に行われるよう、気象台と県・市町の緊密な情報交換を通じ、連携強化を図る。 ○ 大規模地震を想定した訓練を実施し、安全確保行動の確認や職場の体制確認を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大雨警報等が発表される時は、県・市町に対してホットラインによる事前連絡を行った。また、平時においても、県に対して朝夕に気象解説を行い、県から市町へ留意すべき防災情報を共有してもらうなど連携をとっている。 ○ 南海トラフ地震を想定して気象台内での訓練を実施し、職員の安否確認や機器障害時等の対応確認を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 住民が防災気象情報を受ける第一の手段はテレビ・ラジオと想定されることから、報道機関との懇談会を実施し、気象台が発表する防災気象情報について周知広報を行う。[継続] ○ 避難行動の判断材料となる防災気象情報の意味と、とるべき行動、及び情報の入手手段等について、住民に対する周知広報を行う。[継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|--|
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体，防災関係機関が開催する研修，訓練，講演会等での，防災気象情報に関連する研修，後援等の依頼には可能な限り対応し，職員を派遣の上，防災気象情報の普及啓発を図る。 ○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。 ○ 気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 そのときどうする？」について，関係機関と連携して実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種感染症対策をとりながら，TV会議形式の部外講演も活用しつつ，依頼のあった研修や不特定多数の人を対象としたイベントにも積極的に対応した。 ○ 気象防災ワークショップの未実施自治体を主な対象としてワークショップの実施に向けて調整したが，この下半期には実施できなかった。引き続き，未実施自治体を主な対象としてワークショップの実施に向けて調整を継続する。 ○ 自治体の防災担当（室）課や教育委員会等を通じて，気象庁ワークショップの実施受け入れについて打診している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 企業・団体，防災関係機関が開催する研修，訓練，講演会等での，防災気象情報に関連する研修，後援等の依頼には可能な限り対応し，職員を派遣の上，防災気象情報の普及啓発を図る。[継続] ○ 地方公共団体防災担当者向けの気象防災ワークショップを関係機関と連携して実施する。[継続] ○ 気象庁ワークショップ「経験したことの無い大雨 そのときどうする？」について，関係機関と連携して実施する。[継続] |
| 備 える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う。 ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。 ○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取り組みを実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 機会を捉えて，防災及び報道機関との地域防災支援の取組を継続的に実施している。 ○ 令和5年度上半期中は，県庁に職員を複数回 JETT（気象庁防災対応支援チーム）派遣した。8月に今年の梅雨時期の大雨事例について県との振り返りを実施した。 ○ 首長の交代した海田町を昨年11月に訪問し，「あなたの町の予報官」の取り組みについて新町長への説明を実施した。また，別件で市町側と電話等でやり取りをした際等の機会を捉え，市町側の独自のニーズ収集に取り組んでいる。 ○ 自治体、報道機関との振り返りや部外講演等の機会を捉えて、「あなたの町の予報官」との顔の見える関係の構築に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災支援の取組の強化を行う。[継続] ○ JETT（気象庁防災対応支援チーム）の体制強化や市町等の関係機関と共同での「振り返り」実施等の取組を一層推進する。[継続] ○ 地域の実情に応じたきめの細かい気象解説ができるように「あなたの町の予報官」の取り組みを実施する。[継続] |

【中国地方整備局】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 知る | <p>○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。</p> | <p>○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報提供を実施した。</p> | <p>○ 道路施設等に海拔情報を表示し、避難時の目安となる情報を提供する。[継続]</p> |
| 察知する | <p>○ 中国地方整備局 WEB サイト等において、以下の防災情報を提供</p> <p>【全般】 防災体制情報、TEC-FORCE 活動状況</p> <p>【河川】 川の防災情報（洪水予報、水防警報、ダム放流通知）、浸水想定区域図、水文水質データベース、NHK データ放送での配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害リスクラインによる一般への水位情報提供 ・ 切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラや YouTube を活用した河川監視カメラの映像配信。 ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進。 ・ 平成 30 年 7 月豪雨及び令和 3 年 8 月大雨で土砂災害により甚大な被災を受けた地区において、早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開 ・ 情報発信の強化のため、ツイッター等の SNS 公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行）。 <p>【道路】 道路情報提供（交通規制、道路気象情報）、事前通行規制区間情報、冬季道路情報（道路ライブ画像、通行止め予定区間）</p> | <p>○ 【全般】 体制情報や TEC-FORCR 活動を HP 等から提供し、令和 5 年度下半期では、大雪の対応、能登半島地震の対応を情報発信した。</p> <p>【河川】 左記の防災情報について、継続して中国地方整備局 WEB サイト等において提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 左記の取組を継続。 ・ 左記の取組を継続。 ・ 左記の取組を継続。 ・ 左記の取組を継続。 <p>【道路】 道路情報の提供について継続実施中。</p> | <p>○ 中国地方整備局 WEB サイト等において、以下の防災情報を提供</p> <p>【全般】 防災体制情報、TEC-FORCE 活動状況</p> <p>【河川】 川の防災情報（洪水予報、水防警報、ダム放流通知）、浸水想定区域図、水文水質データベース、NHK データ放送での配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害リスクラインによる一般への水位情報提供 ・ 切迫感やリアリティーのある河川状況を伝えるため、簡易型河川監視用カメラや YouTube を活用した河川監視カメラの映像配信。 ・ 設置した危機管理型水位計により越水危険箇所の水位情報を公開し住民の主体的な避難を促進。 ・ 平成 30 年 7 月豪雨及び令和 3 年 8 月大雨で土砂災害により甚大な被災を受けた地区において、早期避難などに役立てていただくための溪流監視カメラ画像の一般公開 ・ 情報発信の強化のため、ツイッター等の SNS 公式アカウントを通じた災害情報の提供（試行）。 <p>【道路】 道路情報提供（交通規制、道路気象情報）、事前通行規制区間情報、冬季道路情報（道路ライブ画像、通行止め予定区間）</p> <p>【港湾】 ナウファス（全国港湾海洋波浪情報網）</p> <p>○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッ</p> |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| | <p>【港湾】ナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話事業者が提供する緊急速報メールサービスを活用した洪水情報のプッシュ型配信を広島県内全域で実施。 ○ 令和3年8月大雨箇所による被災箇所についてワイヤーセンサーによる警戒を実施。 ○ 各放送局への河川カメラ映像の提供。 ○ 特別警報発表時など生活に影響を及ぼすような災害が発生するおそれがある場合に、円滑な避難や被害の防止・軽減に資するため、気象台との合同記者会見を実施。 | <p>【港湾】防災情報の提供について継続実施中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の取組を継続。 ○ 安佐南区山本、西区己斐上、西区田方の3箇所において、取組を継続。 ○ 左記の取組を継続。 ○ 令和5年7月の梅雨前線および8月の台風7号時においては、広島地方気象台、NEXCO 西日本と合同記者会見を行い、災害情報の発信を実施した。 | <p>シュ型配信を広島県内全域で実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年8月大雨による被災箇所（施設完成箇所を除く）についてワイヤーセンサーによる警戒を実施。 ○ 各放送局への河川カメラ映像の提供。 ○ 特別警報発表時など生活に影響を及ぼすような災害が発生するおそれがある場合に、円滑な避難や被害の防止・軽減に資するため、気象台との合同記者会見を実施。 |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練 ○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 南海トラフ巨大地震発生を想定した総合啓開連携訓練を開催し、41機関が参加のもと、連携体制の強化、情報共有の向上を図った。 ○ 左記のとおり各市町村へマニュアルを提供している他、本省では研修市町村職員向けの研修会を開催している。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「中国地方の防災に関する連絡会」における情報共有・伝達訓練 ○ 要配慮者利用施設について避難確保計画作成のため、「講習会の企画調整及び運営マニュアル」を提供し、避難対応の推進を支援 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等（広島市を中心に展開予定） ○ 防災教育の取組強化 <ul style="list-style-type: none"> ・教育現場と連携・協力し, 防災教育の支援を実施(整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供, 気象台・地理院とも連携した取組を実施) ○ マイ・タイムラインの普及 <ul style="list-style-type: none"> ・流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。 ○ 中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方における地震、台風、豪雨など極端な気象に関する防災体制の整備強化と関係者の意識向上を目的に、中国地方防災研究会講演会を開催。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで防災フェス（広島テレビ）」に参加し、降雨体験機を利用した防災体験を実施した。また、小学生を対象とした体験型の出前講座を実施した。 ○ 左記の取組を継続するとともに、取組の一つとして、広島県内の河川事務所とプロサッカークラブの共催により、小学校で防災学習を開催した。 ○ 広島県内の各河川系事務所において、マイ・タイムライン出前講座を実施した。 ○ 令和5年度は中国防災研究会講演会を3回開催し、過去の災害や地域建設業BCPなどをテーマにすることで、関係者の防災に関する意識向上に取り組んだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災教室, 防災訓練, 防災イベント等（広島市を中心に展開予定） ○ 防災教育の取組強化 <ul style="list-style-type: none"> ・教育現場と連携・協力し, 防災教育の支援を実施(整備局が持っている災害時のリアルな写真や映像・データなどを提供, 気象台・地理院とも連携した取組を実施) ○ マイ・タイムラインの普及 <ul style="list-style-type: none"> ・流域の小中学校、または自治会において、マイ・タイムライン出前講座を実施。マイ・タイムライン作成の過程でハザードマップを見てもらい、自分自身の災害に対する危険性を把握してもらう。 ○ 中国地方防災研究会及び（一社）中国建設弘済会との共催で、中国地方における地震、台風、豪雨など極端な気象に関する防災体制の整備強化と関係者の意識向上を目的に、中国地方防災研究会講演会を開催。 |

【広島県市長会（広島市）】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備え等を広報する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市HPや広報紙、市政出前講座、講演会・研修会等により、災害に関する一般知識や平素からの備えについて周知した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種広報媒体により災害に関する一般知識や備え等を広報する。〔継続〕 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進 ○ 広島市防災情報メールの登録促進 ○ その他の避難情報の入手方法の周知 (広島市防災ポータル、広島市公式LINE、広島市公式SNS、テレビ、気象庁HPなど) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市HP、SNS、市政出前講座、講演会・研修会、小学校への案内、デジタルサイネージ及びポスター掲示等により周知し、災害の危険性を察知する手段を確保するための支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進〔継続〕 ○ 広島市防災情報メールの登録促進〔継続〕 ○ その他の避難情報の入手方法の周知〔継続〕 (広島市防災ポータル、広島市公式LINE、広島市公式SNS、テレビ、気象庁HPなど) |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急速報メールの活用の周知 ○ 防災ライブカメラの設置補助 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急速報メールの活用の周知〔継続〕 ○ 防災ライブカメラの設置補助〔継続〕 ○ 防災行政無線屋内受信機の無償貸与〔追加〕 |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助 ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の作成支援 ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災訓練の実施に係る補助金を交付する制度により、自主防災組織が効果的な訓練を実施できるよう支援した。 ○ 地域の危険性を自ら確認し、災害に備えることのできる「わがまち防災マップ」の作成を支援した。 ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進のために以下の普及啓発を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発動画を本市の公式YouTube、Twitter、Facebookでの配信するとともに、マツダスタジアムや本通り交差点の大型モニターなどでも放映した。 ・公共施設やサービスエリア、市内の大学にチラシ・ポスターの配布、市立小学校、中学校、高校の児童・生徒へチラシを配布した。 ・イベントや研修会等で使い方と機能を紹介した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災訓練に対する補助〔継続〕 ○ 地域独自の防災マップ「わがまち防災マップ」の活用周知〔追加〕 ○ 避難誘導アプリのダウンロード促進〔継続〕 |
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援 ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催 ○ 「広島市豪雨災害伝承館」等を巡る被災地防災研修会の開催に対する支援 ○ 災害を追体験できる取組の推進 ○ 普及啓発冊子「たちまち防 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災まちづくり事業により、防災講演会や研修会の開催に対する支援を実施（講師謝礼金、設備の借り上げ費用等）した。 ○ 「たちまち防災」を活用 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織による防災講演会や研修会等の開催に対する支援〔継続〕 ○ 講演会・研修会・市政出前講座の開催〔継続〕 ○ 「広島市豪雨災害伝承館」等を巡る被災地防災研修会の開催に対する支援 ○ 災害を追体験できる取組の推進〔継続〕 ○ 普及啓発冊子「たちまち防 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|---|---|
| | 災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。 | した研修を地域防災リーダーが実施するよう促した。 | 災」を活用し、地域防災リーダーが研修を実施する。〔継続〕 |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災リーダーの養成事業の実施 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災士養成講座を2回（1回目：12/2、12/3 2回目：1/20、1/21）実施し、175名の地域防災リーダー（防災士）を養成した。 ○ 報道機関等が開催する防災イベントと連携し、避難誘導アプリのダウンロードや非常持ち出し品等の日頃からの備えを啓発した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災リーダーの養成事業の実施〔継続〕 ○ 企業や各種団体が開催する防災イベントと連携し、日頃からの備えを啓発〔継続〕 |

【広島県町村会（坂町）】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発を実施 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知 ○ 広島県防災入カシステムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施 ○ 「津波・高潮ハザードマップ」に、新たな一時避難場所を追加するとともに、発災時の避難行動や災害情報の入手方法等より分かりやすくし、住民の理解力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記取組を実施した。 ○ 被害想定の見直しのため延期した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地震防災マップ」・「津波・高潮ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」の広報誌やHPでの周知、転入者等に配布し啓発を実施〔継続〕 ○ 土砂災害警戒区域の確認方法を広報誌や町HPで周知〔継続〕 ○ 広島県防災入カシステムを利用し、避難施設の設備状況、災害時における混雑状況等、情報提供の実施〔継続〕 ○ 「津波・高潮ハザードマップ」に、新たな一時避難場所を追加するとともに、発災時の避難行動や災害情報の入手方法等より分かりやすくし、住民の理解力の向上を図る。〔継続〕 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線等により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知 ○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記取組を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線等により災害情報を周知すると共に、町の自主避難先の開設情報や高台等への駐車場確保に関する情報を周知〔継続〕 ○ 町の登録制メールによる、災害情報や避難所等の開設情報の周知〔継続〕 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ エリアメール、テレビdボタン広報誌による、災害情報の周知（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル） ○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置 ○ 河川監視カメラの設置及び映像公開情報の周知 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ エリアメール、テレビdボタン広報誌による、災害情報の周知（NTT ドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル）[継続] ○ 戸別受信機の無償貸与を実施し、避難情報をより確実に伝達するほか、難聴世帯に対しては個別アンテナの設置[継続] ○ 河川監視カメラの設置及び映像公開情報の周知[継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備 ○ 高齢者等避難を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設 ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備 ○ 消防団員への普通救命講習の実施 ○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施 ○ 消防団ポンプの更新による、消防能力の向上を図る。 ○ 民間社会福祉法人が整備する障害福祉サービス施設の一部を災害時の一次避難場所として利用するための整備を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記取組を実施した。 ○ 消防団員への普通救命講習を実施した。(11/26、1/28) ○ 左記取組を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難施設をいち早く開設する体制を庁内で整備[継続] ○ 高齢者等避難を発令する前であっても、災害の危険性が考えられる場合、また夜間になる前に自主避難所を開設[継続] ○ 消防団と協働し、町内全地域の災害に対応可能な体制を整備[継続] ○ 消防団員への普通救命講習の実施(11/24、1/26 予定)[継続] ○ 自主防災組織に対し「避難の呼びかけ体制づくり」の支援を実施[継続] ○ 民間社会福祉法人が整備する障害福祉サービス施設の一部を災害時の一次避難場所として利用するための整備を実施[継続] |
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座開催 ○ 自主防災組織養成講座開催 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 10/4～12/14 の間に実施(全6回) ○ 防災リーダー養成講座開催し、5名に受講証を交付した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災リーダー養成講座開催[継続] ○ 自主防災組織養成講座開催[継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の自主的な防災講座の支援 ○ 防災士養成講座受講者の募集 ○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる災害伝承ホールにより、災害の実態を後世に伝えていく。 ○ 30年7月豪雨災害の被害状況や復旧・復興の取り組みを記録誌としてまとめ、被災から得た教訓を後世に継承し、町民の防災意識の更なる向上を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災士養成講座受講(12/2・3)し、7名の防災士を養成した。 ○ 左記取組を実施した。 ○ 左記取組を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の自主的な防災講座の支援[継続] ○ 防災士養成講座受講者の募集[継続] ○ 写真や映像を通じて災害や避難について学べる災害伝承ホールにより、災害の実態を後世に伝えていく。[継続] ○ 30年7月豪雨災害の被害状況や復旧・復興の取り組みを記録誌としてまとめ、被災から得た教訓を後世に継承し、町民の防災意識の更なる向上を目指す。[継続] |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知 ○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱 ○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ ○ マイ・タイムラインの全戸配布 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記取組を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難情報発令時に「非常持出品の携行」について防災行政無線等で周知[継続] ○ 公共施設において非常持出品を展示し、準備を提唱[継続] ○ 町広報誌等において、備蓄の呼びかけ[継続] ○ マイ・タイムラインの全戸配布[継続] |

【広島県教育委員会】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|--|--|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 6月の一斉防災教室実施後、11月の一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップ等を活用し、災害危険箇所、避難場所、避難経路を確認。訓練実施後に避難場所・避難経路等の見直しを実施するよう指導[継続] |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 6月の一斉防災教室実施後、11月の一斉地震防災訓練実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 11月の一斉地震防災訓練参加に係る通知を发出して、防災教育の充実を働きかけた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認[継続] ○ 一斉防災訓練への参加や避難行動の確認[継続] |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の取組状況 | 令和6年度の取組予定 |
|------|---|--|--|
| | ○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し | ○ 災害種別ごとの危機管理マニュアルに不備のある学校を個別に指導した。 | ○ 災害種別に対応した危機管理マニュアルの作成・見直し[継続] |
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施 ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を推進するための教職員研修の実施 ・「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 ・「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進 ○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 梅雨期及び台風期に、地域の関係機関と連携を図り、危機管理マニュアルを整備し、防災態勢を強化するよう指導した。 ○ 「防災週間」及び「津波防災の日」の周知の際、関係機関と連携をして、防災体制の整備に努めるよう指導した。 ○ 6月の一斉防災教室実施後に、危機管理マニュアル等を見直すよう指導した。 ○ 学校における防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度初任者研修で「ひろしまマイ・タイムライン」に関する内容を、研修受講者に作成をさせると共に、子供に作成させる際の指導の在り方を検討させた。 ・令和5年度学校安全指導者講習会において、「防災教育の手引」に示した事例から、生徒自らが避難経路を選択する訓練に関する高等学校の実践発表を行った。 ・各学校の防災教育の取組に不備がないように、学校安全取組状況調査を実施して、各市町教育委員会と連携して学校の取組状況を確認した。 ○ 防災講座用のパンフレットや映像、パネル等が活用できるよう関係リンク先 HP を紹介した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会、自主防災組織等、地域と連携した防災訓練の実施[継続] ○ まち歩きや防災マップの作成による災害危険箇所等の確認[継続] ○ 学校における防災教育の推進[継続] <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を推進するための教職員研修の実施 ・「ひろしまマイ・タイムライン」の活用事例を紹介 ・「防災教育の手引」を活用した「防災に関する授業」の推進 ○ ホットライン教育ひろしまで公民館職員に、公民館等で防災等をテーマにした学習講座を企画する際に活用できる情報を提供[継続] |

【広島県】

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の実施状況 | 令和6年度の取組内容 |
|------|---|--|--|
| 知 る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施 ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じた定期的な広報の実施 ・防災教室、広報番組、イベント等において、「広島県防災 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害危険箇所、避難場所、避難経路の確認の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/15～6/16) ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、イベント等での広報や企業訪問を検討する。 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の実施状況 | 令和6年度取組内容 |
|------|--|--|--|
| | <p>Web」やポータルサイト「みんなで減災 はじめの一步」などの利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による呼び掛け ・ 県内の大規模企業への訪問による従業員及びその家族による実施働きかけ <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進</p> <p>○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施</p> <p>○ 中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援を、引き続き行う。</p> <p>1. BCPの啓発(BCPを知る) 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制(BCM活動)の整備を訴える、専門家の「BCP策定推進フォーラム・普及啓発セミナー」の他に、県職員による企業訪問や、セミナーを継続実施する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報番組において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一步」などの利用を促進した。 ・ 内閣府主催の「ぼうさいこくたい2023」のセッションにオンラインで参加(9月18日) ・ マツダスタジアムでの防災啓発イベント等に参加し、防災タイムラインの作成を呼びかけた。 ・ トラックまつりに参加し、「みんなで減災」推進大使による呼び掛けを行った。(10月8日) <p>○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施(広島地方気象台とも連携) 《実施済》144校(2月末まで) <p>○ 「ひろしま防災出前講座」での活用や市町等への貸出を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学防災・減災研究センター監修で制作した地震・津波災害VRを運用。 <p>1. BCPの啓発(BCPを知る) 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制(BCM活動)の整備を訴える、専門家の「BCP普及啓発セミナー」の他に、県職員によるセミナーを実施した。 (1月末現在) ■BCP普及啓発セミナー ・専門家によるセミナー 112名 ・県職員によるセミナー 402名</p> | <p>○ 継続して取り組む</p> <p>○ 継続して取り組む</p> <p>○ 令和6年度についても、中小事業者等に事業継続計画(BCP)の策定支援を、引き続き行う。</p> <p>1. BCPの啓発(BCPを知る) 県内中小事業者等に対して、BCPの必要性や事業継続のマネジメント体制(BCM活動)の整備を訴える、専門家の「BCP策定推進フォーラム・普及啓発セミナー」の他に、県職員による企業訪問や、セミナーを実施する。</p> |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の実施状況 | 令和6年度の取組内容 |
|------|--|---|---|
| 知る | <p>2. BCP策定支援（BCPを策定する） 「BCP策定講座」の他、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を減らし企業の規模や現状を考慮した、より策定しやすい講座も継続実施する。</p> <p>3. BCM活動の推進（BCPを検証する） BCPの効果検証等を試みる「机上演習」の他に、演習企画・実施のノウハウを修得できる「机上演習企画運営講座」を継続実施する。</p> <p>4. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業組合に対する講座や、サプライチェーンの中核企業及びその取引先企業向けの出張型講座（セミナー、策定講座、机上演習）を継続実施する。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標識設置実施計画に基づく計画的な標識設置の推進 ・ 自主防災組織の代表者などを対象とした防災教室の開催 | <p>2. BCP策定支援（BCPを策定する） 1日かけて実施する、「BCP策定講座」の他、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を減らし企業の規模や現状を考慮した半日の講座を実施した。 （1月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ BCP策定講座（1日コース） 111社 ■ BCP策定講座（半日コース） 97社 <p>3. BCM活動の推進（BCPを検証する） BCPの効果検証等を試みる「机上演習」を実施した。 （1月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ BCP検証机上演習 49社 <p>4. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業組合等に対する出張型講座（セミナー、策定講座）を実施した。 （1月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ セミナー 457名 ■ BCP策定講座 265社 <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害警戒区域等を示した標識を累計で420小学校区に設置し、県内の土砂災害警戒区域を有する全小学校区への標識の設置が完了 ・ 「呼びかけ避難」と「率先避難」の避難行動を啓発するメッセージについて、ポスター、チラシ、テレビ、SNS等を通じて短期集中的に発信する避難啓発推進キャンペーンを実施（6月） ・ ポスターやSNS等を活用した「キキミルAR」の積極的な広報を実施 ・ 自主防災組織の代表者等を対象とした防災教室の開催（10月）、災害警備教養研修の実施（11月） | <p>2. BCP策定支援（BCPを策定する） BCP策定講座（1日コース）の他、内容を厳選して、従来のBCPよりも分量を減らし企業の規模や現状を考慮したBCP策定講座（半日コース）や策定済BCPの診断ポイント、更新ノウハウを伝える講座を実施する。</p> <p>3. BCM活動の推進（BCPを検証する） BCPの効果検証等を試みる「机上演習」の他、企業内でのBCP・BCMの浸透を目指す教育・演習等を実施する。</p> <p>4. 共助体制の構築 共助のハブとなりうる、同業種団体・組合等に対する講座や、サプライチェーンの中核企業及びその取引先企業向けの出張型講座（セミナー、策定講座、机上演習）を実施する。</p> <p>○ 土砂災害警戒区域等の認知度向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害警戒区域等を示した標識について公共施設等に設置 ・ 避難行動を啓発するメッセージ等をポスターやSNS等の多様なメディアやツールを用いて情報発信する取組や、自主防災組織の代表者等を対象とした防災教室の開催など、避難につながる取組を推進し、区域指定の効果を高める取組を継続 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の実施状況 | 令和6年度の取組内容 |
|------|--|--|--|
| 知る | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ため池ポータル」による情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き最新情報に更新していく。 ○ 山地災害危険地区情報システム（HP）での山地災害危険地区情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き最新情報に更新していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ため池ポータル」による情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・10月、1月に最新情報の更新を行った ○ 山地災害危険地区情報システム（HP）で山地災害危険地区の情報を周知した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ため池ポータル」による情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き最新情報に更新していく。 ○ 山地災害危険地区情報システム（HP）での山地災害危険地区情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き最新情報に更新していく。 |
| 察知する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施 ・県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・県広報番組、県広報誌等を通じた防災情報メールの登録の呼びかけ ・県内企業を訪問し、従業員及びその家族による登録を働きかけ ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「察知する」取組の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 気象情報・防災情報の意味の周知や、防災情報メールへの登録促進 <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・広報番組において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一步」などの利用を促進した。 ・マツダスタジアムでの防災啓発イベント等に参加し、防災タイムラインの作成を呼びかけた。 ・トラックまつりに参加し、「みんなで減災」推進大使による呼び掛けを行った。(10月8日) ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「知る」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） 《実施済》144校(2月末まで) ○ 防災アプリを活用したマイ・タイムラインの作成促進 <ul style="list-style-type: none"> ・防災アプリを活用したマイ・タイムライン作成促進を図るため、折り込みチラシの配布などの広報プロモーションを実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、イベント等での広報や企業訪問を検討する。 ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む ○ 新たに LINE を活用したマイ・タイムライン作成ツールの普及促進に取り組む。 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の実施状況 | 令和6年度の取組内容 |
|------|---|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報の信頼性を高める取組 ・ 土砂災害危険度情報システムを活用した自治体の防災情報発信に係る支援の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報の信頼性を高める取組 ・ 土砂災害危険度情報システムにおける、表示情報の更新や機能追加など自治体のニーズ等に応じたシステム改修を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災情報の信頼性を高める取組 ・ 土砂災害警戒情報の精度向上等の検討 ・ 土砂災害危険度情報システムを活用した自治体の防災情報発信に係る支援の強化 |
| 行動する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ ・ 報道機関との連携による、テレビ、ラジオ等を通じた、定期的な広報の実施 ・ 県内の大規模イベント等における、「みんなで減災」推進大使による周知 ・ 「一斉防災教室」の実施 ・ 県内企業を訪問し、従業員及びその家族に訓練等への参加を働きかけ <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「行動する」取組の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の状況に応じた適切な避難行動等の周知や防災訓練等への参加の呼びかけ ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/15～6/16) ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ 広報番組において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一步」などの利用を促進した。 ・ マツダスタジアムでの防災啓発イベント等に参加し、防災タイムラインの作成を呼びかけた。 ・ トラックまつりに参加し、「みんなで減災」推進大使による呼び掛けを行った。(10月8日) <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「行動する」取組の推進 ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） 《実施済》144校(2月末まで) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ・ 引き続き、イベント等での広報や企業訪問を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の実施状況 | 令和6年度の取組内容 |
|------|--|--|---|
| 学 ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」の実施 ・ 報道機関と連携した定期的な広報により、防災教室や防災訓練等への参加促進、災害から命を守る行動などについて周知 ・ 県内の大規模イベント等において、「みんなで減災」推進大使による防災教室の実施 ・ 県内の大規模イベント等における職員による防災教室の実施 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「学ぶ」取組の推進 ○ 災害を可視化するためのVR教材の作成及びその教材を活用した疑似体験の実施 ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるため災害に関する正しい知識の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、企業、学校等の参加による「一斉防災教室」を実施した。(5/15～6/16) ・ 報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ 広報番組において、「広島県防災 Web」やポータルサイト「みんなで減災はじめの一歩」などの利用を促進した。 ・ 内閣府主催の「ぼうさいこくたい2023」のセッションにオンラインで参加(9月18日) ・ マツダスタジアムでの防災啓発イベント等に参加し、防災タイムラインの作成を呼びかけた。 ・ トラックまつりに参加し、「みんなで減災」推進大使による呼び掛けを行った。(10月8日) ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の利用による「学ぶ」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施(広島地方気象台とも連携) 《実施済》144校(2月末まで) ○ 「ひろしま防災出前講座」での活用や市町等への貸出を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学防災・減災研究センター監修で制作した地震・津波災害VRを運用。 ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有識者会議を開催し、「地域の砂防情報アーカイブ」における過去の災害記録を追加 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、イベント等での広報や企業訪問を検討する。 ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む ○ 県防災 Web に過去の災害記録を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害記録を蓄積し、災害記憶の伝承に向けた取組を推進 |

| 行動目標 | 取組内容 | 令和5年度の実施状況 | 令和6年度の取組内容 |
|------|--|---|---|
| 学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・VR 教材や大型模型など様々なツールを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育を推進 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策、治山事業実施の効果などの理解促進を目的として説明会を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・20 小中学校で VR 教材や模型等を活用した砂防出前講座を実施 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策、治山事業実施の効果などの理解促進を目的として説明会を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 砂防出前講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・VR 教材や大型模型など様々なツールを活用した出前講座の実施など効果的な防災教育を推進 ○ 近年多発する山地災害及び防災対策、治山事業実施の効果などの理解促進を目的として説明会を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施していく。 |
| 備える | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるための行動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関と連携した定期的な広報により、非常持出品の備えなどについて周知 ・「みんなで減災」備えるフェアの開催 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普段から災害に備えるための行動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関との連携によるテレビ・ラジオ等を通じて「みんなで減災」推進大使を活用した広報を実施した。 ・ホームセンターやショッピングセンターなどの生活に身近な場所において、非常持出品の特設コーナーを設置するなど、非常持出品として備えるべきものや、ローリングストックといった備え方の工夫などを周知する「みんなで減災」備えるフェアを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 《開催期間》 6/24～7/10 56 企業（2,606 店舗）参加 1/13～1/29 99 企業（2,711 店舗）参加 ○ 「ひろしまマイ・タイムライン」の作成を促すことによる「備える」取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで減災推進課・河川課・砂防課の3課で連携した「ひろしま防災出前講座」の実施（広島地方気象台とも連携） 《実施済》144 校(2 月末まで) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続して取り組む ○ 継続して取り組む |